

福沢諭吉研究文献年表（稿）

1858—1958（その1）

丸 山 信 編

A bibliography of the books, the essays and other writings on
YUKICHI FUKUZAWA, 1858-1958.

MAKOTO MARUYAMA

まえがき

本年表は、福沢諭吉の生存中から死後及び現在（1858—1995）までの研究文献を一覧できるように企画したものであり、今回は安政の義塾開塾より戦後の昭和33年（1858—1958）の慶應義塾創立百年までを「その1」の年表とし、以後より現在までのものは「その2」、「その3」として、引き続きまとめる予定である。文献の採集には、昆野和七「福沢諭吉関係総目録」（「史学」発表）、昭和女子大学近代文学研究室『近代文学研究叢書』5、「福沢諭吉資料年表」などの先行書誌を参考にした。

文献の配列：刊行年月順に分け、同月の中はタイトルの五十音順、月の記載のないものはその年の最初に配列した。

1866年（慶應2）

- 0001 The Elements of political economy by Francis Wayland Boston, Gould and Lincoln
1866.

1868年（慶應4）

- 0002 慶應義塾創立の檄文 慶應義塾記（時代の先駆福沢諭吉新銭座に慶應義塾を開く） 内
外新報 16号 慶應4年閏4月18日

1870年（明治3）

- 0003 契應妓塾福沢魯吉 苦界ふみ尽（仮名垣魯文） 娼妓評判記付録 八文字屋童忠撰 明
治3.秋
0004 東京諸先生高名方独案内 英蘭斎五翁 明治3.午秋

1872年（明治5）

- 0005 学問乃心得 堺県 明治5年壬申（「学問のすゝめ」偽版）
0006 私塾生の公費給与廃止に関して福沢諭吉の建白 新聞雑誌 37号 明5.3

1873年（明治6）

- 0007 福沢先生の『カタワ娘』と世論 東京日々新聞 269号 明6.1.21
0008 著作権と無保護は文化の阻害と福沢諭吉偽版の取調を申請 東京日々新聞 383号 明6.5.29
0009 学問のもとすゑ 全 山梨県小野泉著 甲府内藤伝右衛門蔵版 明治6.10（『学問のすゑ』偽版）

1874年（明治7）

- 0010 『学問のすゑ』第7編の論旨を非難した投書 日新真事誌 第3周年48号 明7.6.29（楠公権助へノ憤慨）
0011 学問のすゑ弁議 上尾—黒田如水 新聞雑誌 277～278号 明7.7.18～7.7.20
0012 『学問のすゑ』第7編の論旨を以て楠公の忠死を権助の首縊りに比したと非難の記事及び投書 日新真事誌 第3周年第118号 明7.9.25
0013 読余贅評6号 愛古堂 大槻磐溪 朝野新聞 368号 明7.10.28
0014 学門ノススメ評 五九楼仙萬 朝野新聞 375号 明7.11.7
0015 客アリ曰ク前キニ福沢氏が楠公権助論ヲ出セシヨリ（投書） 吉野幸徳 東京毎日新聞 明7.11.23
0016 福沢諭吉の楠公権助論 東京日々新聞 867号 明7.12.2
0017 学者職分論ノ評 津田真道 明六雑誌 2号 明7.12
0018 学者職分論ノ評 森有礼 明六雑誌 2号 明7.12
0019 非学者職分論 西周 明六雑誌 2号 明7.12
0020 福沢先生ノ論ニ答フ 加藤弘之 明六雑誌 2号 明7.12
0021 内地旅行 西周 明六雑誌 23号 明7.12
0022 内地旅行論 津田真道 明六雑誌 24号 明7.12

1875年（明治8）

<1月>

- 0023 偽版の始末 朝吹英二 東京日々新聞〈投書〉 明8.1.6
0024 『西洋事情』偽版一件 郵便報知新聞 561号 明8.1.14
0025 福沢諭吉進んで訴訟を起し著作の擁護に犠牲を払ふ 東京日々新聞 899号 明8.1.6

<2月>

- 0026 『学問のすゑ』評判 朝野新聞 441号 明8.2.8
0027 楠公権兵衛論の批判世界に誇るべき卓見 東京日々新聞 明8.2.7
0028 風変わりな森有礼氏の結婚 郵便報知新聞 明8.2.7
0029 森有礼のハイカラ結婚式—福沢諭吉を証人の結婚契約書 東京日々新聞 明8.2.7

<7月>

- 0030 福沢諭吉の『案外論』 郵便報知新聞 737号 明8.7.31

<9月>

- 0031 明六社の名士演説 郵便報知新聞 明8.9.18

<11月>

- 0032 活論学問雀 初号上・下2冊, 2号上・下2冊, 3号上・下2冊 服部応賀 甲府, 信州, 箱館, 沼津, 各地書肆発兌 明8.11.19~明9.7 (『学問のすゝめ』の攻撃)

- 0033 慶應義塾ノ形況 烏森町寓 <投書> 小松原栄太郎 評論新聞 31号 明8.11

<12月>

- 0034 糾駁 学問勧割一名学問勧打返 上・下2巻 犬塚襲水 犬塚氏蔵版 明治8.12

- 0035 福沢氏ノ文明論絶板サレントスルノ話 評論新聞 55号 明8.12

- 0036 福沢諭吉等の豊前会集合 東京曙新聞 660号 明8.12.15

1876年（明治9）

- 0037 福沢氏西京人ノ入門ヲ拒絶ス 近事評論 2号 明9.6.10

- 0038 三条公, 加藤, 福沢等共和政治を謀る 朝野新聞 863号 明9.7.15

1877年（明治10）

- 0039 金の中央集権— 福沢諭吉反対建議す 読売新聞 明10.2.5

- 0040 華族学校教師雇入ノ奇談 近事評論 61号 明10.6.8

1878年（明治11）

- 0041 福沢先生ノ私利可憐ノ御論ヲ読ム 近事評論 107号 明11.1.28

- 0042 福沢諭吉が教育の要旨を講演 東京曙新聞 明11.3.28

1879年（明治12）

<1月>

- 0043 読通俗国権論 坂本南海男 大阪日報 明12.1

- 0044 学士会院の設立 郵便報知新聞 明12.1.20

- 0045 是が理想選挙か, 福沢府議に推さる 郵便報知新聞 1793号 明12.1.22

- 0046 福沢先生も亦た寝言ある乎 近事評論 173号 明12.1.28, 大阪日報 885号 明12.1.29

- 0047 東京府会議員の紛議 大阪日報 明12.1.29

<2月>

- 0048 三田町阿福の奇話 1, 2, 3 扶桑新誌 25号 明12.2.3, 31号 明12.4.6, 41号 明12.5.26

<4月>

- 0049 福沢諭吉君著『通貨論』の評論 田口卯吉 東京経済雑誌 4号 明12.4.29

<5月>

- 0050 慶應義塾生徒諸君に告ぐ 近事評論 195号 明12.5.18
0051 三田大爺官金二十五万円ヲ借入レントス 近事評論 196号 明12.5.23

<6月>

- 0052 華族を武辺に導くの説を読む 高知市 海太郎 大阪日報 998号 明12.6.14

<9月>

- 0053 福沢諭吉先生勝海舟先生ノ答弁ニ閉口ス 近事評論 220号 明12.9.23
0054 文明は蒸気から— 福沢の『民情一新』 郵便報知新聞 明12.9.5

<12月>

- 0055 雇人請宿の福沢屋諭吉 驥尾団子 56号 明12.11.15
0056 福沢諭吉『明治英名百詠撰』 篠田久次郎編 明12.11（絵入り）

1880年（明治13）

- 0057 三田ノ大爺ノ臀毛ヲ抜ク 中外広問新報 11号 明13.1.24
0058 三田大先生の卑劣に驚く 中外広問新報 12号 明13.1.27

<2月>

- 0059 芝愛宕下青松寺で交詢社発会式挙行福沢先生常議員長に選ばれ演説する 小幡篤次郎
交詢雑誌 1号 明13.2.5

<8月>

- 0060 三田先生は国会開設建白者の影武者に非ざる耶 近事評論 282号 明13.8.3
0061 国会は自然に開くべしと某総代人に答へたる福沢先生の一語は頓知耶、頓辞耶 近事評論 284号 明13.8.13

<9月>

- 0062 福沢先生著『民間経済録』第二編を読む 田口卯吉 東京経済雑誌 明13.9.25
0063 三田の慾張大爺遽かに民権論を擲棄して官権党に変性せしは亦実学士の真面目耶 中外
広問新報 93号 明13.9.29

<11月>

- 0064 評説 福沢先生時事小言偶評 六合雑誌 13, 15号 明13.11.1, 14.12.9
0065 読福沢諭吉氏鉄道論 東京日々新聞 2675, 2678, 2679号 明13.11.8, 11~12

1881年（明治14）

- 0066 Fukuzawa's lectures, one 'on religion', the other on 'Christianity, a national injury'
by M. C. Harris Chrysanthemum, vol. 1, 1881, pp.392-396

<1月>

- 0067 安芳君が福沢諭吉氏の評 扶桑新誌 140号 明14. 1. 6
〈2月〉
- 0068 三田のあまのじゃく老爺再び民権家の仮面を被らんとす 東京政談 12号 明14. 2. 5
〈4月〉
- 0069 福沢宗の功德民間に衰へて官海に振ふの原因如何 扶桑新誌 161号 明14. 4. 21
- 0070 福沢諭吉『明治英名百人首』 安井乙熊編 明14. 4 （絵入り）
〈5月〉
- 0071 福沢諭吉先生不日重官に登用せられんとすとは果たして信耶 扶桑新誌 168号 明14. 5. 26
〈6月〉
- 0072 我政府官権党新聞の発行を福沢諭吉僧正に託し僧正之を諾したりとは信耶 扶桑新誌 174号 明14. 6. 26
〈8月〉
- 0073 福沢門下の書生福地源一郎を悪む蛇蝎の如し 扶桑新誌 183号 明14. 8. 11
〈10月〉
- 0074 官海の風波三田宗門に及ぶは近來の珍説 江湖新報 109号 明14. 10. 16
- 0075 福沢先生の『時事小言』 田口卯吉 東京經濟雜誌 明14. 10
〈11月〉
- 0076 “One of the greatest names in Japan at the present is that of Fukuzawa Yukichi”
Japan Weekly Mail, 26th Nov. 1881
- 0077 福沢先生『時事小言』偶評 植村正久 六合雜誌 明14. 11. 11
- 0078 続福沢諭吉氏『時事小言』1～5 植村正久 六合雜誌 明14. 11. 25～15. 5. 17

1882年（明治15）

- 〈3月〉
- 0079 続福沢君僧侶論 波多野伝三郎稿 嚶鳴雜誌 41号 明15. 3. 16
〈6月〉
- 0080 続時事新報藩閥寡人政府論 江湖新報 明15. 6. 2
〈8月〉
- 0081 駁福沢氏耶蘇教論 吉岡弘毅 六合雜誌 26号 明15. 8. 3
- 0082 福沢諭吉政府の買収を拒絶 日の出新聞 明15. 8. 26
〈9月〉
- 0083 一貫頭三田ノ老爺ノ為メニハヲ喰フ 扶桑新誌 237号 明15. 9. 1
- 0084 太閤秀吉を気取る老爺の話 自由樓名主人 日の出新聞 143号 明15. 9. 24
〈10月〉
- 0085 何の為に兵隊の多きを望むや 日の出新聞 明15. 10. 6

1883年（明治16）

- 0086 “Fukuzawa Yukichi” by Charles Lanman. Leading men of Japan, with an historical summary of the Empire. Boston, D. Lothrop, [c1883] pp.43-63
- 0087 福沢科学の改正 明治日報 明16. 2 [これに対する福沢の答, 「又も喧嘩の買出しに來たり」(漫言) 時事新報 明16. 2.13]
- 0088 時事新報の『兵法』に惑ふ 朝野新聞 明16. 4 (福沢の『全国兵は字義の如く全国なるべし』時事新報 明16. 4. 5～7 に対するもの)

1887年（明治20）

- 0089 福沢諭吉氏の社会の形勢学者の方向, 慶應義塾の学生に告ぐるの文を読む 国民之友 1号 明20. 2.15
- 0090 楠権弁論者 (五九楼仙萬) 朝野新聞 明20. 8.25
- 0091 雄弁大家演説集 国民之友 13号 明20.12.27

1888年（明治21）

- 0092 帰朝中の井上角五郎を拘引すべく福沢諭吉方を家宅搜索 郵便報知新聞 4868号 明21. 1.28
- 0093 福沢諭吉君と新島襄君 国民之友 17号 明21. 3. 2
- 0094 子弟三千人福沢諭吉の功業 読売新聞 4174号 明21.12. 4

1889年（明治22）

- 0095 脚本作家福沢諭吉全篇十幕の大物「四方の暗雲波間の春雨」 内外商業新報 明22. 3. 20
- 0096 私立大学の事を論じて福沢先生と世の有志者に告ぐ 土屋寛 日本人 23号 明22. 3. 20
- 0097 福沢家の家門幸福なりや 女学雑誌 160号 明22. 3.20
- 0098 [福沢の人物評] (英国新聞マンチェスター・ガーデアンより転載) 時事新報 明22. 7.28
- 0099 官立私立東京諸学校一覧 児玉又七編 明22.12
- 0100 福沢諭吉翁に禅学を勧む <雑報> 反省会雑誌 25号 明22.12.10

1890年（明治23）

- 0101 Fukuzawa Yukichi by Basil Hall Chamberlain. Things Japanese, being notes on various subjects connected with Japan. London, Kegan Paul, Trench Trubner & Co., Tokyo, Hakubunsha, 1890. pp.105-106

<3月>

- 0102 福沢諭吉翁〈時事〉 女学雑誌 205号 明23. 3. 22
- 0103 福沢諭吉氏 植村正久 日本評論 4号 明23. 3. 26
- 0104 福沢諭吉と新島襄（明治の二先生） 徳富蘇峰 国民之友 明23. 3 （『蘇峰文選』第1編収録）
- 〈4月〉
- 0105 『文字之教』を読む— 文学者としての福沢諭吉君 徳富蘇峰 国民之友 80号 明23. 4 （『人物管見』明25. 5 収録）
- 〈5月〉
- 0106 文学者としての福沢翁〈批評〉 女学雑誌 211号 明23. 5. 3
- 〈7月〉
- 0107 第1期の政論（3）～（5） 陸羯南 日本 明23. 7. 22～24 （『陸羯南全集』第1巻 38～43頁収録）
- 〈8月〉
- 0108 近時政論考 第14 経済論派及び法学論派 陸羯南 日本 明23. 8. 20 （『陸羯南全集』第1巻 56～58頁収録）

1891年（明治24）

- 0109 福地と福沢相痛罵 読売新聞 明24. 1. 28
- 0110 福沢諭吉も首相を狙ふ乎 読売新聞 明24. 4. 17
- 0111 女報 福沢諭吉氏の姉 女学雑誌 295号 明24. 12. 12

1892年（明治25）

- 0112 始めて福沢先生を訪ふ〈蒐集〉 反省会雑誌 7年2号 明25. 2. 20
- 0113 福沢諭吉氏の政治論 徳富蘇峰 国民之友 165号 明25. 9
- 0114 福沢翁銅像〈時事〉 女学雑誌 331号 明25. 11. 5
- 0115 福沢先生の諸行無常 植村正久 日本評論 47号 明25. 11. 15 （『植村正久全集』7巻 収録）
- 0116 摘要福沢諭吉氏の道德論 女学雑誌 333号 明25. 12. 3
- 0117 福沢門〈時事〉 女学雑誌 335号 明25. 12. 31

1893年（明治26）

- 0118 福沢翁と敬字先生〔仮題〕 北村透谷 評論 1の4 明26. 4. 5 （『透谷全集』岩波書店 第2巻明治文学管見 172～174頁収録）

1894年（明治27）

- 0119 福沢翁の政治運動 田口卯吉 東京経済雑誌 29の713 明27. 3

0120 福沢翁の特性 田口卯吉 東京経済雑誌 29の720 明27.4

1895年（明治28）

0121 福沢翁の時事意見 太陽 2号 明28.2.5

0122 福沢諭吉先生の道徳 植村正久 福音新報 明28.5.12

0123 福沢翁 徳富蘇峰 早稲田文学 明28.12（『蘇峰文選』第3編収録）

1896年（明治29）

0124 福翁の宇宙観 MK生 東京経済雑誌 33の815 明29.3

0125 『太陽』の福沢諭吉評 東京日々新聞 明29.9.22

0126 福沢先生 MK生 太陽 2の1 明29.9

0127 新聞記者としての福沢諭吉翁 春汀散史 明治評論 5の11 明29.10.1（『春汀全集』2巻収録）

0128 福沢翁と気品 MK生 東京経済雑誌 34の850 明29.11

1897年（明治30）

<4月>

0129 ジャパンタイムズの資本主は福沢諭吉 毎日新聞 7906号 明30.4.20

0130 福沢諭吉翁 内村鑑三 万朝報 明30.4.24（『内村鑑三著作集』3巻収録）

<8月>

0131 批評『福翁百話』 明治評論 6の9 明30.8.5

0132 『福翁百話』 女学雑誌 447号 明30.8.10

<9月>

0133 福翁百話 MK生 哲学雑誌 12の127 明30.9

0134 『福翁百話』を読む 綱島栄一郎（梁川） 早稲田文学 41号 明30.9（『梁川全集』4巻 大11.5収録）

0135 福沢翁の誇と立腹 植村正久 福音新報 114号 明30.9

0136 福沢氏の宗教家に対する説教 内村鑑三 万朝報 明30.9.11（『内村鑑三著作集』3巻 昭29収録）

0137 福沢諭吉氏 高山樗牛 太陽 3の17 明30.9（『樗牛全集』4巻収録）

0138 三田先生の主義本領 植村正久 福音新報 114号 明30.9

<10月>

0139 啓蒙思潮の先導者〔仮題〕 大西祝 国民之友 362 明30.10.10（『大西博士全集』6巻収録）

0140 『福沢全集』 MK生 太陽 3の22 明30.10

1898年（明治31）

- 0141 福沢諭吉翁 鳥谷部春汀 太陽 4の1 明31.1 （『春汀全集』2巻収録）
0142 福沢氏と日本文明 鳥谷部春汀 太陽 4の3 明31.3
0143 文明主義の政論 菊池武徳 慶應義塾学報 3号 明31.5
0144 福沢諭吉氏 菊池武徳 太陽 4の12 明31.6
0145 福沢翁の人物 植村正久 福音新報 172号 明31.10
0146 福沢先生の病氣、『病床日記』 交詢雑誌 541号 明31.10.20
0147 福沢諭吉氏 植村正久 福音新報 171号 明31.10.7
0148 我国文明の開拓者 植村正久 福音新報 175号 明31.11

1899年（明治32）

- 0149 福沢翁の品行家風 植村正久 福音新報 186号 明32.1.20
0150 福沢翁の独立心と潔癖 植村正久 福音新報 188号 明32.2.3
0151 福沢翁生涯の心願 植村正久 福音新報 191号 明32.2.24
0152 福沢諭吉—明治十二傑 奥村信太郎 太陽 5の13 明32.6
0153 福沢翁の『新女大学』を評す 木下尚江 毎日新聞 明32.12.26～29

1900年（明治33）

- 0154 『学商福沢諭吉』 焉用氏 大学館 明33 目次：福沢の主義、福沢と政事、書生としての福沢、塾師としての福沢、学問屋としての福沢、著訳者出版者としての福沢、「マンモニズム」の宣教師としての福沢、福沢の性行経歴 付録：修身要領に対する諸説

<1月>

- 0155 福沢先生の感化と其の安心法 植村正久 福音新報 237号 明33.1.10 （『植村正久著作集』2巻収録）

<2月>

- 0156 Mr. Fukuzawa and his views. by Walter Dening. Japan Weekly Mail, 10th Feb. 1900

- 0157 男女交際論 清議報 38号 光緒26.2.11（明33）

- 0158 福沢流の修身法 植村正久 福音新報 244号 明33.2.28

<3月>

- 0159 修身要領の由来 小幡篤次郎 慶應義塾学報 25号 明33.3

- 0160 修身要領発表について 門野幾之進 慶應義塾学報 25号 明33.3

- 0161 独立自尊とは何ぞや 志仁堂主人 万朝報 3216～3318号 明33.3.14～16

- 0162 福沢翁の修身要領 朝比奈知泉 東京日々新聞 明33.3.4 （『朝比奈知泉文集』736～739頁 昭2収録）

0163 三田聖人の修身要領 坂本南海男 労働世界 明33. 3

<4月>

0164 男女交際論 台湾日々新報 574, 576, 578号 明33. 4. 3, 6, 8

0165 独立自尊について 菅学応 中央公論 15の4 明33. 4

0166 福沢翁の修身要領を読む 綱島栄一郎 教育学術界 1の6 明33. 4

<5月>

0167 道德主義としての独立自尊 井上哲次郎 太陽 6の10 明33. 5

0168 内国近事 御慶事の後 福沢に金五萬円御下賜ありたることに對して植村の感激 植村
正久 福音新報 255号 明33. 5

0169 福沢先生恩賜金を慶應義塾に寄附す 交詢雑誌 560号 明33. 5. 20

0170 三田翁の所謂道德 高山樗牛 太陽 明33. 5 （『樗牛全集』4巻収録）

<6月>

0171 The Mita system of ethics and its detractors. by Walter Dening. Japan Weekly
Mail, 23th June, 1900

0172 板垣伯と福沢氏 高山樗牛 太陽 明33. 6 （『樗牛全集』4巻収録）

0173 修身要領を読む 上・下 秋水 万朝報 2308～2309号 明33. 6～7（のち、『幸徳秋
水集』改造文庫に収録）

0174 修身要領に對する井上哲次郎氏の批評を読む 林毅陸 慶應義塾學報 28号 明33. 6

0175 『修身要領』の巡回演説 高山樗牛 太陽 6の7 明33. 6 （『樗牛全集』4巻収
録）

0176 独立自尊主義の道德を論ず 井上哲次郎 哲学雑誌 15の160 明33. 6

<10月>

0177 福沢翁の『新女大学』を評す 津田左右吉 毎日新聞 明33. 10. 29 （『津田左右吉全
集』22巻第1編評論 昭40収録）

<12月>

0178 『瘦我慢の説』を紹介す 井上哲次郎 日本人 129 明33. 12

1901年（明治34）

0179 Japan vōr 47 Jafren by (Fukuzawa Yukichi) Ostasein, vol. 3, pt.35, Berlin, 1901.
s. 490-491

<1月>

0180 新年処々の文字 瘦我慢の説 堺利彦 万朝報 明34. 1

0181 福沢先生の人生二面觀 綱島栄一郎 教育学術界 2の3 明34. 1

0182 『瘦我慢の説』を読む 徳富蘇峰 国民新聞 明34. 1. 13 （『蘇峰文選』第3編収録）

0183 『瘦我慢の説』に就き 井上哲次郎 日本人 131 明34. 1

<2月>

- 0184 “The death of Mr. Fukuzawa”. by E. H. Vickers. 福沢先生哀悼録 慶應義塾学報
No.39 1901. 2. 8 pp.56-57
- 0185 “Fukuzawa Yukichi”. Japan Daily Advertizer, 4th Feb., 1901
- 0186 “Death of Mr. Fukuzawa”. Japan. Daily Mail, 5th Feb., 1901
- 0187 “The late Mr. Fukuzawa”. Japan Times, 5th Feb., 1901
- 0188 “The late Mr. Fukuzawa”. Kobe Herald, 5th Feb., 1901
- 0189 “The late Mr. Fukuzawa, Memorial service in Kobe”. Kobe Chronicle, 6th Feb.,
1901
- 0190 “The late Mr. Yukichi Fukuzawa, a biography”. Orient, Hansei Zassi tranxformed,
vol. 16, pt.2, 1901. pp. 2 -13
- 0191 “The late Mr. Fukuzawa; an impressive funeral”. Nagasaki Press, 13th Feb., 1901
- 1092 “Mr. Fukuzawa Yukichi”. Kobe Chronicle, 6th Feb., 1901
- 0193 “Mr. Fukuzawa”. Japan Herald, 5th Feb., 1901
- 0194 “Mr. Fukuzawa funeral”. Japan Times, 9th Feb., 1901
- 0195 “Mr. Fukuzawa’s death”. Japan Gazette, 4th Feb., 1901
- 0196 “Mr. Fukuzawa’s opinions on religion”. Kobe Chronicle, 21st Feb., 1901
- 0197 “Mr. Yukichi Fukuzawa”. Far East International Dept.of Kokumin Shinbun, 5th
Feb., 1901
- 0198 “A national loss: Fukuzawa Yukichi”. Box Curios, 9th Feb., 1901
- 0199 “The power of character”. Japan Daily Advertizer, 8th Feb., 1901
- 0200 “Woman’s status in Japan”. Kobe Chronicle, 11th Feb., 1901
- 0201 “Yukichi Fukuzawa : in memorial”. Japan Daily Mail, 19th & 20th Feb., 1901
- 0202 嗚呼福沢先生 野崎広太郎 慶應義塾学報 明34. 2
- 0203 偉人の死去— 敗將一滴之血 岳南子 日本人 133号 明34. 2
- 0204 旧友福沢君を哭す 福地源一郎 慶應義塾学報 明34. 2
- 0205 弔詞 小幡篤次郎 慶應義塾学報 明34. 2
- 0206 独立自尊の歌 土屋元作 慶應義塾学報 36号 明34. 2
- 0207 福沢翁と藤原惺窩 植村正久 福音新報 294号 明34. 2
- 0208 福沢翁逝けり 田口卯吉 東京経済雑誌 1067号 明34. 2. 9
- 0209 福沢氏の「瘦我慢説」 大町桂月 太陽 7の2 明34. 2（『十人十色名物男』 大5
収録）
- 0210 福沢先生を弔う 植村正久 福音新報 293号 明34. 2.10（のち『植村正久全集』 7
巻収録）
- 0211 福沢先生を弔う 鎌田栄吉 慶應義塾学報 明34. 2
- 0212 福沢先生を弔す 社末 戸田芳助 交詢雑誌 569号 明34. 2.28
- 0213 福沢諭吉を弔す 大町桂月 太陽 7の3 明34. 2

- 0214 福沢諭吉と大隈重信 三宅雄二郎（雪嶺） 日本 明34. 2 （『福沢先生哀悼録』 明34. 5 収録）

< 3 月 >

- 0215 “Fukuzawa Yukichi : sketch”. Nation, vol. 72, no. 234, 21st March, 1901

- 0216 国家と福沢翁 笹川潔 日本人 134号 明34. 3

- 0217 故福沢先生追善会 交詢雑誌 570号 明34. 3. 25

- 0218 福沢翁之長逝 大町桂月 哲学雑誌 16の169 明34. 3

- 0219 三田の教師 大町桂月 教育学术界 2の5 明34. 3

< 4 月 >

- 0220 “Fukuzawa Yukichi : influence of”. Independent, vol. 53, no. 753, 4th April, 1901

- 0221 “Fukuzawa Yukichi tribute to E. W. Clement”. Dial, vol. 30, no. 224. 1st April, 1901

- 0222 福沢諭吉を吊す 大町桂月 慶應義塾学報 39号 臨時増刊 明34. 4

< 5 月 >

- 0223 福沢先生 鎌田栄吉 慶應義塾学報 40号 明34. 5

- 0224 『福沢諭吉哀悼録』 慶應義塾学報臨時増刊号 明34. 5

1902年（明治35）

- 0225 “A Life of Mr. Yukichi Fukuzawa”. By Asataro Miyamori, revised by E. H. Vickers, with a Tokyo and Osaka, Z. P. Maruya, 1902

- 0226 Fukuzawa Yukichi ; author and schoolmaster by W. G. Aston, and sketch of Fukuzawa's work by C. Kadono with 5 plates, Transaction and Proceedings, the Japan Society, London. vol. 5, pt. 4, 1902. pp.280-310

- 0227 福沢諭吉 新民叢報 7号 光緒28. 4. 1（明35. 4. 1）

- 0228 慶應義塾講師 演釈福沢先生独立自尊之義十四条 新民叢報 14号 光緒28. 7. 15（明35）

1903年（明治36）

- 0229 男女交際論 張肇祖訳 文明書局 光緒29（明36）

- 0230 Fukuzawa Yukichi by A. Miyamori. Nation vol. 76, no. 77, 22nd Jan., 1903

- 0231 学者と実業家の同心協力 福沢一太郎 慶應義塾学報 60号 明36. 1

- 0232 『余が見たる福沢先生』 土屋元作 三和印刷店 明36. 2

- 0233 日本大儒福沢諭吉語録 新民叢報 38～39号 光緒29. 8. 14（明36）（『福翁百話』の中の6話を漢文訳したもの）

1904年（明治37）

- 0234 Recollections of a Japanese leader by P. Pigelow Harper's Weekly vol.48 no.71
8-720, 7th, May, 1904
- 0235 "Fukuzawa Yukichi ; portrait". Independent vol.57 on.331, 11st Aug., 1904
- 0236 "Fukuzawa Yukichi ; chastisement of Russia ; poem". Overland, n. s. vol. 44, no.
410, Oct., 1904
- 0237 日本の文明と福沢先生 大隈重信 慶應義塾学報 84～85号 明37.11～12

1905年（明治38）

- 0238 "Shin Onna-Daigaku by Mr. Fukuzawa". by Earnest W. Clement. A handbook
of modern Japan. Chicago, A. C. Mc Clung, 1905. pp. 184-185
- 0239 大隈伯の福沢翁追懷 史学界 7の2 明38. 2

1906年（明治39）

- 0240 慶應義塾規則 王泰鐘訳 長沙 明德学堂 光緒32（明39）
- 0241 福沢と福地 牛中山人 東洋経済新報 380号 明39. 6

1907年（明治40）

- 0242 "Moral code of Yukichi Fukuzawa" by J. Sale. Oben Court, vol.21, no.321-9,
1907
- 0243 『福沢先生ガ瘦我慢ノ説ヲ駁ス』 信太歌之助〔本名青柳〕 目次：福沢先生の徳川幕
府解散を説くは妄論に過ぎず，福沢先生の瘦我慢の説には正鵠を誤るものとす，他 8
編
〈2月〉
- 0244 福沢先生と儒教 菅緑蔭（菅学応） 慶應義塾学報 114号 明40. 2
〈5月〉
- 0245 祝辞 慶應義塾創立五十周年記念式 尾崎行雄 慶應義塾学報 117号 明40. 5
〈7月〉
- 0246 破格論〈明治故人評論3〉 愛山生 中央公論 22の7 明40. 7
- 0247 福沢翁の譬喩 福本日南 中央公論 22の7 明40. 7 （以下「中央公論」の諸論文
は『明治故人評論』収録）
- 0248 福沢雪池翁 三宅雄次郎 中央公論 22の7 明40. 7
- 0249 福沢先生 鎌田栄吉 中央公論 22の7 明40. 7
- 0250 福沢先生 戸川秋骨 中央公論 22の7 明40. 7
- 0251 福沢諭吉翁 池辺吉太郎 中央公論 22の7 明40. 7
- 0252 福沢諭吉氏 徳富蘇峰 中央公論 22の7 明40. 7
- 0253 予の知れる福沢先生 竹越三叉 中央公論 22の7 明40. 7

<11月>

0254 西人が観たる福沢先生 記者訳 慶應義塾学報 124号 明40.11

1908年（明治41）

- 0255 “Ein Wegweiser für moderne Frauen und Mädchen übersetzt von T. Tsuji” [by Yukichi Fukuzawa] Mitteilungen des Seminars für Oreintalische Sprachen zu Berlin. 1. Abteilung, Ostasiatische Studien, Bd. 11, 1908. S.265-290
- 0256 政商論附福沢先生 山路愛山 『現代金権史』 服部書店 明41. 5 （『明治文学全集』35巻山路愛山集 昭40収録）
- 0257 福沢先生と我輩の处世主義 大隈重信 実業之世界 5の1 明41. 5
- 0258 我輩の处世主義，予の観たる福沢諭吉 石黒忠憲 実業之世界 5の2 明41. 6
- 0259 福沢先生と宗教心 向軍治 開拓者 3の7 明41. 7
- 0260 今若し父が在世ならば如何なる言行を為すか 福沢一太郎 実業之世界 5の4 明41. 8

1909年（明治42）

- 0261 『福沢先生言行録』 高橋淡水 明42（再版大正1年）
- 0262 慶應義塾出身の諸名士が今日あるを得たる福沢先生の教訓 1, 2 大隈重信 実業之世界 6の1～2 明42. 1～2
- 0263 終生忘る能はざる恩師福沢先生の訓戒 井上角五郎 実業之世界 6の3 明42. 3
- 0264 教育の真義— 治者と被治者（三回三田演説会筆記録） 新渡戸稲造 慶應義塾学報 141号 明42. 4. 15
- 0265 独立自尊は仁義なり 田中米作 慶應義塾学報 142号 明42. 5
- 0266 『福翁訓話』 三田商業研究会編纂 実業之世界社 明42. 5（内容は福沢諭吉の門下諸名士の回答を編輯したもの 井上角五郎，井上公二，井阪直幹，など187名）
- 0267 福沢先生と明治最初の図書館 田中一貞 慶應義塾学報 145号 明治42. 8
- 0268 先輩青年品行論— 福沢氏の一夫一婦論 三宅雄二郎 実業之世界 6の9 明42. 9
- 0269 福沢先生の常識と我輩の常識 大隈重信 実業之世界 6の11 明42. 10

1910年（明治43）

- 0270 英文修身要領 (Fukuzawa's Moral Code) Feb. 11, 1890 慶應義塾学報 150 明43. 1
- 0271 修身要領 養稼生訳 燕塵 3の2 明43. 2. 1
- 0272 福沢先生を追懐す 鎌田栄吉 慶應義塾学報 151号 明43. 2
- 0273 明治の救世主福沢先生十回忌に際して故人を追想す 後藤新平 実業之世界 7の4 明43. 2

- 0274 今猶予が沁々と感ずる福沢先生の三大教訓 森村市左衛門 実業之世界 7の7 明43.4
- 0275 “From the late Mr. Fukuzawa’s autobiography” by H. Katayama. Gakusei, vol. 1, no. 1, 1st Oct. 1910. pp. 120-122.
- 0276 福沢先生と朝鮮問題 井上角五郎 慶應義塾学報 161号 明43.12

1911年（明治44）

- 0277 出世の秘訣— 福沢先生と大隈伯 福沢桃介 実業之世界 8の4 明44.2
- 0278 逝後十一年福沢先生追懷談 鎌田栄吉 慶應義塾学報 163号 明44.2
- 0279 寒心すべき福沢先生の予言実現せられたり 荘田平五郎 実業之世界 8の9 明44.5
- 0280 福沢先生の金銭論 温山木客 精神修養 2の6 明44.6
- 0281 一布衣福沢諭吉 河岡潮風 雄弁 2の7 明44.7
- 0282 福沢先生と手紙の書き方 井上角五郎 雄弁 2の8 明44.8
- 0283 福沢先生の金銭論 井沢温山 慶應義塾商工会々報 3 明44.10
- 0284 福沢諭吉 伊藤痴遊 雄弁 2の10 明44.10

1912年（明治45）（大正1）

- 0285 学生の独立自尊 山名次郎 慶應義塾学報 174号 明45.1
- 0286 福沢先生を悼む 島田三郎 中等国語読本 8 明45.1
- 0287 『福沢先生と小川武平翁』 増島信吉 大1.1
- 0288 基督教と独立自尊 内ヶ崎作三郎 慶應義塾学報 177号 明45.4
- 0289 福沢先生 田中萃一郎 新日本 2の4 明45.4
- 0290 福沢先生予言適中の実例 山田松三郎 実業之世界 9の9 明45.5
- 0291 福沢諭吉先生 鎌田栄吉 太陽 18の9 明45.6
- 0292 福沢諭吉論 1～9 若宮卯之助 実業之世界 9の11～10の14 明45.8～大2.6
（内容：福沢先生と拝金宗，改革者としての福沢先生，教育者としての福沢先生，福沢先生と慶應義塾，など）

1913年（大正2）

- 0293 “Ein literarischer Pionier des moderner Japans” (Fukuzawa, 1834-1901) von Dahlmann J. Stimmen aus Maria Laach, Bd. 87, 1913-14. s. 321-327.
- 0294 慶應義塾関係者写真帳 3冊 創立五十年記念図書館建築費寄付者 大2
- 0295 福沢諭吉— 民権史上の十二名士 田中萃一郎 新日本 3の4 大2.4
- 0296 “Fukuzawa Yukichi and his writings” by Walter Denning. Japanese modern literature, Chapter IV Transaction of the Asiatic Society of Japan. vol. 41, pt.

1, June 1913. pp.25-40

- 0297 独立自尊の真意義 鎌田栄吉 慶應義塾学報 192号 大2.10
0298 評論家としての福沢諭吉 田中王堂 中央公論 28の10 大2.10

1914年（大正3）

- 0299 外国人の見たる福沢先生 笠原嘉次郎 慶應義塾学報 198号 大3.1
0300 日本近代文学論 ウォルター・デニング（笠原嘉次郎訳） 慶應義塾学報 198号 大3.1
0301 福沢先生記念会所感 菊池大麓 慶應義塾学報 199号 大3.2
0302 『恩師先輩訓話随録』 岡本貞然 大3.3
0303 福沢諭吉 大河内翠山 雄弁 5の6 大3.6
0304 福沢先生が存世ならば如何なる言行をせらるべきか 向軍治, 青木徹二 実業之世界 11の26 大3.12

1915年（大正4）

- 0305 国民道德談 朱宗萊訳 中国図書公司 民国4（大4）
0306 雄弁会の思い出, 福沢翁の演説評 井上角五郎 雄弁 6の1 大4.1
0307 学問の神聖と独立 北里柴三郎 三田評論 211号 大4.2
0308 旧話 朝吹英二 三田評論 211号 大4.2
0309 日本外国貿易と福沢先生 森村市左衛門 三田評論 216号 大4.7
0310 福沢先生と長沼村との関係 鎌田栄吉 三田評論 218号 大4.9
0311 『福沢諭吉』 田中王堂 実業之世界社 大4.12 目次：福沢に還れ, 福沢の性格, 福沢の見方の特徴, 福沢の文章, 福沢の出立点, 福沢の文明論, 福沢の智徳論, 福沢の政治論, 福沢の産業論, 福沢の教育論, 福沢の学者論, 福沢の後継者は誰れぞ（みすずりプリント11 1987.9.20刊）

1916年（大正5）

- 0312 人格修養法・独立自尊 上海 商務印書館 民国5（大5）（『修身要領』の漢文訳）
0313 後輩として受けた感化 目賀田種三郎 三田評論 223号 大5.2
0314 余の先輩及び友人の見たる福沢先生 江原素六 三田評論 223号 大5.2
0315 福沢翁と大隈伯 大町桂月（『十人十色名物男』大5.3所収）
0316 福沢先生の半生と其の著書 山名次郎 三田評論 224号 大5.3
0317 慶應義塾の精神 石田新太郎 慶應義塾商工会々報 13号 大5.5
0318 福沢先生の根本精神「独立自尊」の心を思ふ 鹿子木員信 倫理講演集 153号 大5.5
0319 慶應義塾と医学との関係 鎌田栄吉 三田評論 227,232号 大5.6.11

1917年（大正6）

〈6月〉

- 0320 恩師として観たる福沢先生 鎌田栄吉 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0321 恩人として観たる福沢先生 森村市左衛門 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0322 福沢翁と義塾の教職員諸氏 天野為之 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0323 福沢先生及独立自尊論 渋沢栄一 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0324 福沢先生と政治、先生と政治趣味 占部百太郎 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0325 福沢先生と福地源一郎 馬場孤蝶 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0326 福沢先生と余が生涯の事業 北里柴三郎 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0327 福沢先生の高義と長沼村民の蘇生 大木源之助 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0328 福沢先生の情的方面 田中一貞 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0329 福沢諭吉翁論 大隈重信 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6
- 0330 福沢諭吉先生と西郷南州翁 山名次郎 現代之実業 3の6 〈三田人物号〉大6.6

〈11月〉

- 0331 福沢諭吉 改訂増補 『日本家庭百科事彙』下巻 1171頁 富山房 大6.11

1918年（大正7）

- 0332 奈翁なき奈翁時代— 勝、福沢両翁を憶う 浮田和民 日本及日本人 721号 大7.1
- 0333 福沢諭吉氏の一夫一婦論 一条忠衛 六合雑誌 38の2 大7.2.1
- 0334 義塾と朝鮮との関係 鎌田栄吉 三田評論 大7.4
- 0335 福沢諭吉（三十一谷人、雪池と号す） 『日本百科大辞典』9巻 66～67頁 日本百科大辞典完成会 大7.4
- 0336 福沢先生の死 高橋誠一郎 三田新聞 大7.7.20
- 0337 福沢諭吉先生を懷ふ 谷本富 雄弁 9の11 大7.10

1919年（大正8）

- 0338 塾生と政治思想、先生の言行、活動家として見た先生の勉学時代など 福沢諭吉先生言行研究会（伊藤銀亮、山名次郎、北川礼弼） 三田新聞 18号 大8.1.22, 19号大8.3.6, 27号 大8.8.31, 29号 大8.9.17, 46号 大9.6.11, 47号 大9.6.22, 57号 大9.10.25, 65号 大10.2.7, 77号 大10.6.14, 83号 大10.10.18, 84号 大10.10.27
- 0339 独立自尊の精神 鎌田栄吉 三田新聞 27号 大8.8.31

1920年（大正9）

- 0340 『福沢先生伝記完成記念展覧会出品目録』 慶應義塾図書館 [1920] 12P 19cm
0341 刻下の急務— 福沢先生の卓見 後藤新平 三田新聞 36号 大9.1.19
0342 義塾伝来の精神 石田新太郎 三田新聞 42号 大9.4
0343 独立自尊の真意 鎌田栄吉 三田新聞 41号 大9.4.11
0344 福沢先生と門閥打破 菅学応 三田評論 273号 大9.4
0345 経済概念と拝金思想— 福沢先生の国家経済論 山名次郎 三田新聞 45号 大9.5.31
0346 福沢先生立像大額（口絵） 三田評論 276号 大9.7
0347 医学部創立は先生の主旨 犬養毅 三田新聞 58号 大9.11

1921年（大正10）

- 0348 独立自尊と新思想 鎌田栄吉 実業之世界 18の1 大10.1
0349 豊前中津町福沢先生旧邸（口絵） 三田評論 282号 大10.1
0350 偉人の片影 井上角五郎 現代 2の10 大10.10
0351 自由民権史— 福沢諭吉と加藤弘之〈明治文化の研究〉 石川三四郎 解放 特大号 大10.10
0352 新聞雑誌の発達— 偉人福沢諭吉〈明治文化の研究〉 千葉亀男 解放 特大号 大10.10
0353 福沢魂と新生 児玉花外 雄弁 12の10 大10.10
0354 鉄道50年福沢先生を追懐す 鎌田栄吉 三田評論 292号 大10.11

1922年（大正11）

- 0355 大隈侯と福沢翁— 翁の誕生日が侯の命日〈大隈侯哀悼号〉 慶大教授D.H. ブカナン 大観 3の2 大11.2
0356 大隈侯と福沢先生〈大隈侯悼哀〉 矢野文雄 実業之日本 25の3 大11.2.1
0357 福沢先生の手紙 矢田積 三田評論 299号 大11.6
0358 維新当時に於ける国際協調主義（福沢翁） 吉野作造 中央公論 37の10 大11.9
0359 福沢翁の人生観 前田雪雲 弘道 366 大11.9

1923年（大正12）

- 0360 独立自尊の声 堀梅天 三田評論 306号 大12.1

1924年（大正13）

〈1月〉

- 0361 FUKUZAVA YUKITCI Encyclopedia Universal Ilustrada Europeo—Americana Burcelona, Espasa. Tom. 25. c1924. p5 [スペイン大百科事典エスパサ25巻より]

<2月>

- 0362 福沢諭吉翁の拝金と大阪人の拝金 野依秀市 実業之世界 21の2 大13.2
0363 明治8・9年頃の慶應義塾全図 三田評論 318号 大13.2

<3月>

- 0364 追懐福沢先生 江川環桑 三田評論 319号 大13.3
0365 福沢先生に就いての追懐 竹越与三郎 三田評論 319号 大13.3
0366 福沢先生の史蹟を訪ねて 増田廉吉 三田評論 320号 大13.3

<7月>

- 0367 福沢翁を刺さんとした奇才 草沢学人 現代 5の7 大13.7
0368 福沢先生と演説の起源 鎌田栄吉 三田評論 323号 大13.7

<9月>

- 0369 福沢先生滞露中の写真（口絵） 史学 3の3 大13.9
0370 保険医より見たる福沢先生 高田他家雄 三田評論 325号 大13.9

<10月>

- 0371 壮年時代の福沢先生（口絵） 三田評論 326号 大13.10
0372 福沢を暗殺せんとした四人組の書生 大音竜太 雄弁 15の10 大13.10
0373 福沢先生より聴きし演説の心得に就いて 井上角五郎 三田評論 320号 大13.10

1925年（大正14）

<1月>

- 0374 長崎に於ける福沢先生の旧蹟（口絵） 三田評論 329号 大14.1
0375 福沢先生の珍しき芳翰及山田十竹の福沢先生の時評 横山雅男 三田評論 329号 大14.1

<5月>

- 0376 新日本建設の大恩人福沢先生提唱の独立自尊にかへれ 山名次郎 実業之世界 22の5 大14.5
0377 福沢諭吉 『新百科大辞典』下巻 1917頁 東京郁文舎 大14.5

<6月>

- 0378 福沢諭吉の漢文と雅号 雨花子 新旧時代 1の5 大14.6

<7月>

- 0379 福沢諭吉先生の原稿 宮武外骨 明治奇聞 3巻 半狂堂 大14.7
0380 福沢諭吉の日本婦人論 永井亨 社会政策時報 58号 大14.7

<10月>

- 0381 福沢攻撃全集のこと 麿姓外骨 明治文化研究会例会講演目録第1回 大14.10
0382 福沢先生と洋服 吉野作造 新旧時代 1の8 大14.10 （のち『閑談の閑談』 昭8 収録）

<11月>

0383 福沢全集刊行について 小泉信三 財政経済時報 12の11 大14.11

<12月>

0384 福沢諭吉先生写真帳 慶應義塾図書館編 唐沢写真館撮影製作 大14.12

1926年（大正15）（昭和1）

0385 『福沢先生に関する講演集』第1冊 慶應義塾養心会編 大15

<1月>

0386 福沢先生より受けた感化 石河幹明 実業之日本 29の1 大15.1

0387 矢太郎の幕僚と福沢先生 白柳秀湖 実業之世界 23の1 大15.1

<2月>

0388 独立自尊と相互敬愛 石田新太郎 三田評論 342号 大15.2

<3月>

0389 福沢先生と医学 石河幹明 三田評論 343号 大15.3

<4月>

0390 著書から見た福沢先生 滝本誠一 三田新聞 大15.4

<5月>

0391 大隈三菱と三田派を提げて起つ— 福沢翁と大隈重信 白柳秀湖 実業之世界 23の5
大15.5

0392 福沢先生と新聞 石河幹明 三田新聞 173号 大15.5

0393 福沢先生のスパイ観 白柳秀湖 新旧時代 2の2 大15.5

0394 福沢先生の文明論と国家論 養田胸喜 三田新聞 175号 大15.5.28

<7月>

0395 慶應義塾の草分演説 大音竜太 雄弁 17の7 大15.7

<8月>

0396 福沢諭吉と西周 長谷川如是閑 新旧時代 2の4・5〈自由民権号〉 大15.8

<11月>

0397 福沢諭吉と新聞 小野秀雄 新旧時代 2の8 大15.11

<12月>

0398 『かたわ娘』に『かたわむすこ』 石川巖 明治文化研究 2の9 大15.12

1927年（昭和2）

0399 福翁漫言 富田貢 光進堂 昭2

<1月>

0400 福沢先生より大隈侯へ 横山雅男 三田評論 353号 昭2.1

0401 明治大正文学の社会的考察— 福沢諭吉とブルジョア・リベラリズム 木村毅 文章俱

楽部 12の1 昭2.1

<3月>

0402 余の福沢先生初対面記 高橋義雄 実業之世界 24の3 昭2.3

<4月>

0403 時事新報発達史 三田新聞 192号 昭2.4.6

0404 福沢諭吉翁の京都学校記 柳人生 新旧時代 3の4 昭2.4

0405 福沢諭吉先生の事 井上角五郎 現代 8の4 第2付録偉人傑士言行録 昭2.4

0406 福沢諭吉の文明論 小野清一郎 経済往来 2の4 昭2.4

<5月>

0407 『町人福沢諭吉』 太田正孝 宝文館 昭2.5 （報知新聞連載 大15.9.21～昭2.3.10, 再版3版）

<6月>

0408 福沢、田口、天野と明治の経済学 福田徳三 我等 9の6 昭2.6

<7月>

0409 書生の観た福沢先生 小山完吾 三田評論 359号 昭2.7

<8月>

0410 福沢先生の雅号 石河幹明 財政経済時報 14の8 昭2.8

<10月>

0411 町人趣味 太田正孝 三田評論 362号 昭2.10

0412 福沢先生の著述 石河幹明 財政経済時報 14の10 昭2.10

<12月>

0413 慶應義塾と福山藩との関係 横山雅男 三田評論 364号 昭2.12

1928年（昭和3）

0414 福沢諭吉先生に関するアルバム 遺品類I、II 2冊 昭3

<1月>

0415 財界太平記— 福沢岩崎と懇意の事 白柳秀湖 経済往来 3の1 昭3.1

0416 福沢先生の生家 沢田謙 経済往来 3の1 昭3.1

<2月>

0417 福沢先生旧宅及庭園（口絵） 三田評論 366号 昭3.2

0418 福沢先生の著作に就いて 小泉信三 成人 3の6 昭3.2

0419 福沢先生の『瘦我漫』 小泉信三 文芸春秋 昭3.2

0420 福沢諭吉先生 鎌田栄吉 雄弁 3の1 昭3.2

<3月>

0421 『瘦我漫の説』と栗本鋤雲 小泉信三 三田評論 37号 昭3.3

<4月>

- 0422 独立自尊の大義 山名次郎 三田新聞 211号 昭3.4
〈5月〉
- 0423 ウェーランドの経済書の表紙と扉 （写真版） 明治文化研究 4の5 昭3.5
〈7月〉
- 0424 福沢先生と理化学 鈴木梅四郎 三田評論 371号 昭3.7
〈9月〉
- 0425 福沢先生の著述を伝えた由緒ある版木の話 三田新聞 219号 昭3.9
〈10月〉
- 0426 福沢本の偽版事件 梅原北明 愛書趣味 3の6 昭3.10
〈11月〉
- 0427 独立自尊の精神を喚起せよ 鎌田栄吉 実業之日本 31の11 昭3.11
- 0428 福沢先生の賜物 武藤山治 現代 9の11 昭3.11
〈12月〉
- 0429 福沢先生より井上侯宛の書簡 横山雅男 三田評論 376号 昭3.12

1929年（昭和4）

- 0430 『教養ある人となれ、書生の観た福沢先生』 小山完吾 述講演二題 昭4
〈1月〉
- 0431 福沢先生の人生観 川合貞一 三田評論 377号 昭4.1
〈2月〉
- 0432 朝鮮事変に就て 井上角五郎 講演 65 昭4.2
- 0433 福沢先生と経済及産業 向井鹿松 三田新聞 229号 昭4.2
- 0434 福沢先生に関する事ども 横山雅男 三田評論 378号 昭4.2
〈3月〉
- 0435 町人諭吉と侯爵大隈 太田正孝 現代 10の3 昭4.3
〈4月〉
- 0436 『かたわ娘』 解題 『明治文化全集』20巻文明開化編 昭4.4
- 0437 福沢先生と子爵渋沢 尾崎号堂 実業之日本 32の8 昭4.4
〈5月〉
- 0438 王政維新と福沢先生 鎌田栄吉 現代 10の5 昭4.5
〈6月〉
- 0439 福沢諭吉と刀剣 近松秋江 雄弁 20の6 昭4.6
〈7月〉
- 0440 福沢先生の思想原理 川合貞一 慶應義塾予科会誌 6 昭4.7
〈10月〉
- 0441 福沢先生追憶 村上菟喜 三田評論 386号 昭4.10

<11月>

0442 明治初年「慶應」の塾風 波多野承五郎 三田評論 387号 昭4.11

<12月>

0443 慶應義塾論 石浜知行 改造 11の12 昭4.12

0444 福翁逸話 松永安左エ門 慶應倶楽部 22号 昭4.12

1930年（昭和5）

0445 福沢先生の『西洋事情』初編に見えたる会社と社債 栗栖赳夫 財政経済時報 17の1
昭5

<1月>

0446 慶應義塾幼童演説の広告〈余録〉 （明治14年に発表のもの） 明治文化 6の1 昭
5.1

0447 福沢先生の俳 石河幹明君談 慶應倶楽部 昭5.1

<2月>

0448 福沢先生を偲びて 横山雅男 三田評論 390号 昭5.2

<3月>

0449 福沢先生とドクトル・シモンズ 藤山雷太 三田評論 391号 昭5.3

0450 福沢先生と古川正雄 横山雅男 明治文化研究 6の3 昭5.3

<4月>

0451 維新前に於ける福沢先生 尾佐竹猛 三田評論 392号 昭5.4

<7月>

0452 福沢先生記念館（口絵） 三田評論 395号 昭5.7

<8月>

0453 福沢先生と教育 林毅陸 三田新聞 369号 昭5.8

<10月>

0454 福沢先生の経済学説 滝本誠一 三田評論 400号 昭5.12

1931年（昭和6）

0455 『我が福沢先生』 福沢先生研究会編 丸善 昭6 目次：福沢先生を憶ふ 井上角五
郎、三田学風の変遷 犬養毅、瘦我慢の説と栗本鋤雲毅 小泉信三、福沢先生の宗教
観 柴田一能、福沢先生 of 思想原理 川合貞一、福沢先生の経済思想 滝本誠一、福
沢先生に就いての追懷 竹越与三郎、福沢先生と教育 林毅陸、福沢先生と学生 鎌
田栄一、福沢先生と維新政治家 石河幹明、学問の神聖と独立 北里柴三郎、旧話
朝吹英二、福沢先生の恩賜に就いて 日原昌造

<1月>

0456 政治教育家としての福沢先生 尾佐竹猛 三田評論 401号 昭6.1

<3月>

- 0457 福沢諭吉先生の華族を導くの説 安藤徳器 法律春秋 6の3 昭6.3

<4月>

- 0458 福沢先生に就て 高橋義雄 三田評論 404号 昭6.4

<5月>

- 0459 福沢諭吉の民間経済録と学者の志 田崎仁義 法律春秋 6の5 昭6.5

<6月>

- 0460 福沢先生の政治思想の根基 占部百太郎 三田評論 406号 昭6.6

- 0461 ミルの「功利論」の書き入れより見たる福沢先生 川合貞一 三田評論 406号 昭6.6

<7月>

- 0462 福沢諭吉先生を想ふ 犬養毅 雄弁 22の7 昭6.7

<10月>

- 0463 福沢先生と職業 小林澄兄 慶應義塾普通部ニュース 3の24 昭6.10

<11月>

- 0464 福沢先生伝記完成記念展覧会写真帳 唐沢写真館作製 昭6.11

- 0465 福沢先生と慶應義塾 鎌田栄吉 三田評論 411, 412号 昭6.11.12

1932年（昭和7）

- 0466 Pervyi etap iaponskoï burzhuaznoï literatury [日本ブルジョア文学の初段階] N. I. Konrad [コンラート] Trudy Instituta Vostokovedeniia, AN SSSR [ソ連科学アカデミー東洋学研究所論文集] 1932, Leningrad. pp.5-85

- 0467 『伝記完成記念福沢先生遺墨集』 慶應義塾図書館編 審美書院 昭7

- 0468 福沢諭吉先生肖像入慶應義塾卒業生写真帳 慶應義塾図書館編 昭7

<1月>

- 0469 義塾出身の財界人 石山賢吉 三田新聞 275号 昭7.1

- 0470 『西洋事情』偽版 吉野作造 書物展望 2の1 昭7.1 （のち『閑談の閑談』収録 昭8.6）

- 0471 福沢先生の政治戯曲「四方の暗雲波間の春雨」 柳田泉 書物展望 2の1 昭7.1

<2月>

- 0472 福沢先生伝の編纂成る 富田正文 三田文学 7の2 昭7.2

- 0473 福沢先生と日清戦役 小泉信三 三田評論 414号 昭7.2 （のち『学生に与ふ』収録）

- 0474 『福沢諭吉伝』1～4巻 石河幹明 岩波書店 昭7.2～7

<3月>

- 0475 学問のすすめについて 及川恒忠 三田評論 415号 昭7.3

- 0476 新聞人としての福沢諭吉先生 山名次郎 三田評論 279号 昭7.3
- 0477 福沢先生と人格養成 鎌田栄吉 慶應義塾普通部ニュース 4の29～30 昭7.3
〈4月〉
- 0478 石河幹明氏と『福沢諭吉伝』 三田新聞 昭7.4
- 0479 石河幹明氏と『福沢諭吉伝』 小泉信三 三田評論 416号 昭7.4
- 0480 石河幹明氏の『福沢諭吉伝』 馬場恒吾 三田評論 416号 昭7.4
- 0481 石河幹明先生の大著『福沢諭吉伝』 加田哲二 三田評論 416号 昭7.4
- 0482 著者その人を得た『福沢諭吉伝』 木村毅 三田評論 416号 昭7.4
- 0483 福沢先生の晩年と慶應義塾 高橋誠一郎 三田評論 416号 昭7.4
- 0484 『福沢諭吉伝』を推奨す 吉野作造 三田評論 416号 昭7.4
- 0485 『福沢諭吉伝』を推む 本庄栄治郎 三田評論 416号 昭7.4
- 0486 『福沢諭吉伝』を読む 杉山平助 三田評論 416号 昭7.4
- 0487 『福沢諭吉伝』成る 尾佐竹猛 三田評論 416号 昭7.4
- 0488 『福沢諭吉伝』の完成 板倉貞造 三田評論 416号 昭7.4
〈6月〉
- 0489 福沢先生— 僕を感じた人物 林毅陸 ダイヤモンド 20の19 昭7.6
〈7月〉
- 0490 弱者と福沢先生 林毅陸 三田評論 419号 昭7.7
〈8月〉
- 0491 福沢先生伝記並びに遺墨集（口絵） 三田評論 420号 昭7.8
〈9月〉
- 0492 師範教育と慶應義塾 小林澄兄 三田評論 421号 昭7.9
- 0493 福沢諭吉先生 林毅陸 ダイヤモンド 20の29～30 昭7.9～10
〈10月〉
- 0494 『福沢諭吉伝』石河幹明著（書評） 占部百太郎 史学 11の3 昭7.10
〈11月〉
- 0495 法律家としての福沢先生 尾佐竹猛 三田評論 423号 昭7.11

1933年（昭和8）

- 0496 『福沢先生伝』（偉人全集 第9巻） 高橋誠一郎 改造社 昭8
- 0497 『福沢先生と自分』 矢田績 名古屋公衆図書館 昭8
〈1月〉
- 0498 晩年の福沢先生 高橋誠一郎 三田評論 425号 昭8.1
〈2月〉
- 0499 漢文学と福沢先生 高橋義雄 三田評論 426号 昭8.2
〈5月〉

- 0500 『続福沢全集』の完成 石河幹明 三田評論 429号 昭8.5
- 0501 四方の暗雲波間の春雨（福沢先生の政治戯曲） 富田正文 三田文学 8の5 昭8.5
 <7月>
- 0502 『続福沢全集』完成と其中の一文 板倉卓造 三田評論 431号 昭8.7
- 0503 『帳合之法』につきて 西川孝治郎 会計 35の3 昭8.7
- 0504 福沢先生のことども 昆野和七 三田法学雑誌 8号 昭8.7
 <8月>
- 0505 『続福沢全集』第1巻 柳田泉 続福沢全集月報 1号 昭8.8
 <9月>
- 0506 福沢諭吉 [森谷] 『大百科事典』22巻 234頁 平凡社 昭8.9
 <10月>
- 0507 英訳『福翁自伝』の序 小泉信三 中央公論 昭8.10
- 0508 『福沢全集』最初の計画 三田評論 434号 昭8.10
- 0509 福沢先生の手紙の書き方 石河幹明 続福沢全集月報 2号 昭8.10
 <12月>
- 0510 福沢先生と科学 北島多一 三田評論 437号 昭8.12

1934年（昭和9）

- 0511 The autobiography of Fukuzawa Yukichi By Yukichi Fukuzawa, translated by Eiichi Kiyooka Tokyo, Hokuseido Press, 1934
- 0512 Fukuzawa Y. Contemporary Japan. vol. 3, 1934-35, 4.pp.652-653
- 0513 『福沢先生と弟子達』 和田日出吉 千倉書房 昭9
- 0514 『福沢先生の朝鮮御経営と現代朝鮮の文化に就いて』 井上角五郎 昭9
- 0515 『福沢先生を語る諸名士の直話』 高橋義雄編 岩波書店 昭9
 <1月>
- 0516 福沢諭吉先生の精神文化への貢献 川合貞一 日本精神文化 1の1 昭9.1
 <2月>
- 0517 先覚者教育家としての福沢先生 小泉信三 三田評論 438号 昭9.2
- 0518 福沢先生『書翰集』について 柳田泉 季刊明治文化研究 1輯 昭9.2
- 0519 福沢先生誕生百年を想ふ 水木京太 実業之世界 31の2 昭9.2
 <3月>
- 0520 福沢先生と浮世絵版画 高橋誠一郎 経済往来 9の3 昭9.3
- 0521 福沢先生の邦語辞典編纂 尾佐竹猛 三田評論 313号 昭9.3 （のち「続福沢全集月報」4号 岩波書店 昭9.4）
- 0522 福沢諭吉先生生誕一百年記念展覧会 明治文化 7の3 昭9.3
 <5月>

- 0523 明治十四年政変について 渡辺栗山 明治文化研究 2輯 昭9.5
 <6月>
- 0524 福沢先生の著述と経済論 藤野清 商学論集 9の1 昭9.6
- 0525 明治初年の新旧思想対立への序曲 加田哲二 三田学会誌 28の6 昭9.6
 <7月>
- 0526 鎌田先生の福沢先生追懷文 村上菟喜 三田評論 443号 昭9.7
- 0527 福沢先生の貧富論 高橋誠一郎 三田評論 443号 昭9.7
 <9月>
- 0528 福沢先生と千里軒 富田正文 明治文化研究会例会講演目録 昭9.9.11
- 0529 マアジナリヤー 福沢先生とウェブスター 東司郎（七尾嘉太郎（水木京太）の匿名）
 学燈 38の9 昭9.9
 <10月>
- 0530 戯曲福沢諭吉 中村吉蔵 新演劇 2の10 昭9.10
- 0531 戯曲福沢諭吉 真山青果 改造 16の10 特輯号 昭9.10
- 0532 福沢先生のこと 小泉信三 中央公論 49の11 昭9.10
 <11月>
- 0533 欧州重商主義及自由主義経済思想と福沢先生の特殊日本の重商主義経済論 高橋誠一郎
 史学 13の3 昭9.11
- 0534 教育史上の福沢諭吉〈福沢諭吉記念号〉 原田実 伝記 1の2 昭9.11
- 0535 国語国文から見た福沢先生 高橋龍雄 史学 13の3 昭9.11
- 0536 福沢先生を偲ぶ座談会〈福沢諭吉記念号〉 高橋誠一郎、尾佐竹毅、千葉亀雄、渡辺龍
 策、伊藤貫一 伝記 1の2 昭9.11
- 0537 福沢先生関係文献目録稿 今宮新 史学 特輯号 13の3 昭9.11
- 0538 福沢先生資料拾遺 富田正文 史学 13の3 昭9.11
- 0539 福沢先生生誕百年記念展覧会 福沢先生並に物故慶應義塾先輩に関する展覧会 慶應義
 塾図書館 昭9.11
- 0540 福沢先生と巴里 1,2 〈余白録〉 松本信広 史学 13の3 昭9.11
- 0541 福沢先生と明治14年の政変に関する史料 尾佐竹猛 史学 13の3 昭9.11
- 0542 福沢先生の教育観 川合貞一 史学 13の3 昭9.11
- 0543 福沢先生の国家及社会観 小泉信三 史学 13の3 昭9.11
- 0544 歴史家としての福沢諭吉先生 松本芳夫 史学 13の3 昭9.11
 <12月>
- 0545 偽物談 〔二幅対 福沢先生筆の偽物〕 公私月報 52号 昭9.12
- 0546 仏人の見たる福沢先生 1,2 〈余白録〉 松本信広 史学 13の4 昭9.12

1935年（昭和10）

- 0547 Fukuzawa Y. Pacific Affairs, vol. 8, 4, 1935. pp. 497-504
- 0548 A ture Japanse ; Yukichi Fukuzawa (1834 bis 1901) von Heisuke Sugiyama
Nippon, Nr. 2, 1935, s.41 (mit Bildnis) Goto, S.
- 0549 『先覚者福沢諭吉』 宮原清 昭10
- 0550 『福沢先生生誕百年記念論文集』 慶應義塾大学理財学会編 昭10 目次：口絵 福沢
 先生小映、福沢先生の社会思想、福沢先生の『瘦我慢の説』、福沢先生に対する追憶
- 0551 福沢先生の社会思想 高橋誠一郎 『福沢先生生誕百年記念論文集』 慶應義塾大学理財
 学会編 昭10
- 0552 『福沢諭吉』 石河幹明 岩波書店 昭10
- 0553 『福沢諭吉』 （社中学生文庫） 鮑維湘編 上海 中華書局 民国24 昭10
 <3月>
- 0554 英訳『福翁自伝』を読む〈書評〉 柳田泉 三田評論 451号 昭10. 3
 <4月>
- 0555 石河幹明氏著『福沢諭吉』序〈書評〉 小泉信三 三田評論 452号 昭10. 4
- 0556 英訳『福翁自伝』に対する外紙評〈書評〉 三田評論 452号 昭10. 4
 <5月>
- 0557 石河氏著『福沢諭吉』を読む〈書評〉 柴田一能 三田評論 453号 昭10. 5
- 0558 竹内下野守一行と福沢諭吉、早矢仕有的と其筆蹟（口絵） 明治文化研究 第5輯 昭
 10. 5
- 0559 福沢諭吉自叙伝〈書評〉 プラガー・プレッセ 三田評論 454号 昭10. 5
 <8月>
- 0560 学者飼殺しの説 板倉卓造 三田評論 456号 昭10. 8
 <9月>
- 0561 清岡氏英訳『福翁自伝』〈書評〉 戸川秋骨 三田評論 457号 昭10. 9

1936年（昭和11）

- 0562 福沢先生と渡部久馬八氏 小松緑 三田評論 461号 昭11. 1
- 0563 ミルの婦人論と福沢先生 東田善雄 明治文化研究 9の4 昭11. 4
- 0564 福沢先生の官民調和論 渡辺幾治郎 三田評論 465号 昭11. 5
- 0565 福沢先生を語る 杉山平助、富田正文、白柳秀湖 三田新聞 353号 昭11. 6
- 0566 福沢先生の「親友」高橋順益 幸田成友 三田評論 470号 昭11. 10
- 0567 福沢先生と長唄 吉住小三郎 三田評論 471号 昭11. 11
- 0568 福沢諭吉 [森谷] 『国民百科大辞典』11巻 297頁 富山房 昭11. 12

1937年（昭和12）

- 0569 『新井白石、福沢諭吉の一断片』—日本に於ける教育の世界的進出に対する先駆者の寄

与（『大教育家文庫』） 羽仁五郎 岩波書店 昭12 （背文字には『白石、諭吉』とある）

- 0570 『福沢諭吉』 伏見猛弥、阿部仁三共著 啓文社 昭12（『日本教育家文庫』 第40巻）
- 0571 福沢先生の思出 松永安左エ門 三田評論 475号 昭12. 3
- 0572 福沢先生の青年時代 小泉信三 三田評論 475号 昭12. 3
- 0573 福沢先生の法学観 手塚豊 三田評論 478号 昭12. 6
- 0574 万延元年遣米使節と咸臨丸のハワイ寄港 清岡暎一 史学 16の2 昭12. 6
- 0575 万延元年米布見聞に関する報告— 福沢先生資料拾遺 富田正文 史学 16の2 昭12. 6
- 0576 福沢先生に対する私の誤解 秋山弥助 明治文化研究 10の7 昭12. 7
- 0577 日清戦争と福沢諭吉 小泉信三 改造 昭12.12

1938年（昭和13）

- 0578 福沢諭吉と科学 小泉信三 三田評論 488号 昭13. 4
- 0579 福沢先生と馬場辰猪 馬場孤蝶 三田評論 489～491号 昭13. 5～7
- 0580 福沢諭吉の現代的意義 永田広志 三田新聞 395号 昭13. 6.25

1939年（昭和14）

- 0581 福沢先生関係文献目録 三田評論編集部 昭14
- 0582 福沢先生の言論文章 山名次郎 三田評論 479号 昭14. 1
- 0583 福沢諭吉— 生涯、業績 海後宗臣 『教育学辞典』 9巻 1991～1992頁 岩波書店 昭14. 1
- 0584 福沢先生の誕生日に際して 竹越与三郎 三田評論 498号 昭14. 2
- 0585 独歩の「福沢翁の特性」に就いて 川並秀雄 三田評論 500号 昭14. 4
- 0586 福沢先生の町人意識 富田正文 現代の経済 3の6 昭14. 6
- 0587 福沢先生と宗演老師 原清節 三田評論 503号 昭14. 7
- 0588 藤原工業大学と福沢先生 小泉信三 三田評論 503号 昭14. 7
- 0589 時事新報の二十五周年 篠田鉦造 明治文化 12の9 昭14. 9
- 0590 ウィグモア博士の日記と手紙— 福沢諭吉 1889年11月22日の日記 清岡暎一訳 三田評論 506号 昭14.10
- 0591 独立自尊 峯岸治三 三田評論 508～513, 515～519号 昭14.12～15. 5, 15. 7～15.11

1940年（昭和15）

- 0592 The autobiography of Fukuzawa Yukichi (revised edition) By Yukichi Fukuzawa, translated by Eiichi Kiyooka Tokyo, Hokuseido Press, 1940

- 0593 『福沢諭吉の人と思想』 福沢諭吉研究会編 岩波書店 昭15 目次：独立自尊 林毅
陸、福沢先生の国家及び社会観 小泉信三、福沢先生の教育観 川合貞一、『学問の
すゝめ』と Wayland's Moral Science 板倉卓造、福沢先生と浮世絵版画 高橋誠
一郎、歴史家としての福沢先生 松本芳夫、福沢先生の社会観 加田哲二、親族法上
より見たる福沢先生 峯岸治三、戦争と福沢先生 富田正文

<1月>

- 0594 ウェーランドの経済書その他 高橋誠一郎 『書祭（地）』 書物展望社 昭15. 1
0595 最近の福研について 川村博通 福沢研究 1号 昭15. 1
0596 体系的哲学者 Systematiker としての福沢先生 羽仁五郎 福沢研究 1輯 昭15. 1
0597 福沢先生研究会「会史」に就いて 昆野和七 福沢研究 1号 昭15. 1
0598 福沢先生の真面目 川合貞一 福沢研究 1号 昭15. 1
0599 福沢先生の一言 山名次郎 三田評論 509号 昭15. 1
0600 福沢先生訳「海岸防禦論」について 1～2 富田正文 福沢研究 1～2号 昭15.
1. 10

- 0601 福沢諭吉と法律思想 落木正文 明治文化 13の1 昭15. 1

<3月>

- 0602 福翁自伝と速記者の生涯— 矢野由次郎伝 手塚豊 日本の速記 昭15. 3

<4月>

- 0603 明治前期の慶應系実業家たち 伊藤弥之助 歴史と生活 3の2 昭15. 4

<5月>

- 0604 福沢先生及びその門下と速記 上・下 手塚豊 日本の速記 昭15. 5～6

<7月>

- 0605 水木京太編 人生読本『福沢諭吉』〈書評〉 会田倉吉 三田評論 515号 昭15. 7

<9月>

- 0606 福沢先生の所謂実業家 山名次郎 三田評論 517号 昭15. 9

<10月>

- 0607 金玉均の供養 富田正文 福沢研究 2輯 昭15. 10
0608 福沢先生の漢字制限論 阿部達雄 福沢研究 2輯 昭15. 10
0609 福沢先生の男女論に就いて 馬場孝 福沢研究 2輯 昭15. 10
0610 福沢先生の法理思想 峰村光郎 福沢研究 2輯 昭15. 10
0611 福沢諭吉の生涯及び著書 田端忍 同志社論叢 69号 昭15. 10
0612 明治八年新聞紙上に於ける貿易論 江波戸靖 福沢研究 2輯 昭15. 10

1941年（昭和16）

- 0613 『福沢先生を語る』 川合貞一 目黒書店 昭16 （『東洋文化叢書』2）
0614 福沢諭吉の父について 中山義秀 書物展望 11の1 昭16. 6

- 0615 維新当時の福沢先生 富田正文 三田評論 527号 昭16. 9
0616 明治文化史上に於ける新島先生と福沢諭吉 田畑忍 『学問と大学』 白楊社 昭16.
9
0617 福沢先生の科学知識 高橋誠一郎 『王城山荘随筆』 昭16.12

1942年（昭和17）

- 0618 『独立自尊』 峯岸治三 慶應出版社 昭17
0619 福沢先生の英書購入 富田正文 学燈 46の1 昭17
0620 『福沢諭吉雑攷』 富田正文 三田文学出版部 昭17
0621 『報道の先駆者福沢諭吉』 川辺真蔵 三省堂 昭17
0622 『唐人往来』 昆野和七 三田評論 531号 昭17. 2
0623 西洋列強の東侵と福沢諭吉 小泉信三 中央公論 昭17. 3
0624 明治建軍と福沢先生 昆野和七 歴史と生活 5の2 昭17. 3
0625 福沢の儒教批判 丸山真男 『東京帝国大学学術大観』 東京帝国大学編刊 昭17. 4
(のち『戦中と戦後の間』に収録)
0626 昨秋以来の福沢論 昆野和七 三田評論 534号 昭17. 5
0627 福沢先生と経済学の移入 三辺清一郎 歴史と生活 昭17.10

1943年（昭和18）

- 0628 『福沢諭吉』 小林澄兄 昭18 (『日本教育先哲叢書』17)
0629 福沢先生資料展覧会出品目録 慶應義塾編 於慶應義塾図書館 昭18. 4. 1～5 目
次：蘭学の起源、先生の家系・生誕・幼年青年時代、先生の外遊、肖像、著訳書、複
刻本及び関係文献、研究文献、明治初期教育関係文献、義塾門下生の著訳書、先生の
遺墨遺物草稿など
0630 『地租論』に就いて 森下孝 福沢研究 3輯 昭18. 6
0631 福沢先生景仰抄録 西村郁郎 福沢研究 3輯 昭18. 6
0632 平凡なる福沢論 尾佐竹猛 福沢研究 3輯 昭18. 6
0633 福沢における秩序と人間 丸山真男 三田新聞 537号 昭18.11.25

1944年（昭和19）

- 0634 『福沢諭吉』—日本の経済学者・人と学説 高橋誠一郎 実業之日本社 昭19
0635 徳富蘇峰氏の福沢先生評論 小泉信三 三田新聞 546号 昭19. 5. 10

1945年（昭和20）

- 0636 Fukuzawa Yukichi Hiroshima plus 20 prepared by the New York Times, intro-
duction by John W. Fenney. N.Y., Pelacorte Press, [c1945] p.68, p.74

- 0637 『福沢諭吉』—日本の経済学者・人と学説 高橋誠一郎 実業之日本社 昭20

1946年（昭和21）

- 0638 福沢諭吉一人と思想の研究 羽仁五郎 中央公論 682～683号 昭21. 1～2
0639 時勢の変革と歴史の反省—『愚管抄』と『文明論之概略』 村岡典嗣 潮流 昭21. 2
0640 福沢に於ける「実学」の転向 丸山真男 東洋文化研究 3号 昭21. 3
0641 福沢先生の婦人論 富田正文 自由評論 昭21. 5
0642 福沢諭吉新論 上野芳太郎 新教育研究 昭21. 6
0643 福沢諭吉と啓蒙宣伝 富田正文 総合雑誌 昭21. 6
0644 福沢先生と国語問題 富田正文 世界 昭21. 7
0645 福沢先生の女大学 高橋誠一郎 新女苑 昭21. 7 （のち『書斎の内外』に収録）
0646 福沢諭吉の思想と生涯 富田正文 光 昭21. 9
0647 福沢諭吉と西周 柳田泉 国語国文 23の10 昭21.10

1947年（昭和22）

- 0648 The autobiography of Fukuzawa Yukichi, 3rd edition By Yukichi Fukuzawa, tr.
anslated by Eiichi Kiyooka, Tokyo, Hokuseido Press, 1947
0649 Konfutsianstvo i ego rasprostranenie v Iaponii [儒教とその日本における普及]
Radul'-Zatulovskii, IA. V. [ラドウーリ＝ザトロフスキー] Moskva-Leningrad,
1947. stp. 5-85.
0650 『福沢諭吉』 真山彬 講談社 昭22
0651 『福沢諭吉と新教育』 小林澄兄 教育科学社 昭22

<1月>

- 0652 福沢諭吉小伝 嘉治隆一 伝記 昭22. 1

<2月>

- 0653 独立自尊主義—文部省に於ける大臣就任のあいさつ 高橋誠一郎 文部時報 昭22. 2
0654 福沢諭吉と野呂栄太郎 羽仁五郎 三田新聞 557号 昭22. 2.10

<3月>

- 0655 『福沢諭吉の根本理念』 野村兼太郎 昭22. 3 （『東洋書房講座叢書』25）

<5月>

- 0656 近代日本政治における福沢イズム 鈴木安蔵 三田新聞〈九十年祭記念号〉 564号
昭22. 5.30
0657 福沢精神を継承 野坂参三 三田新聞〈九十年祭記念号〉 564号 昭22. 5.30
0658 福沢民主主義の史的考察 土屋恭雄 三田新聞〈九十年祭記念号〉 564号 昭22. 5.

30

<7月>

- 0659 安政の慶應義塾から明治の慶應義塾へ 高橋誠一郎 三田政治学会誌 昭22. 7
0660 福沢先生の学問観 野村兼太郎 三田学会誌 昭22. 7・8・9 合併号
0661 福沢諭吉観 守随憲治 国語と国文学 昭22. 7

<8月>

- 0662 『福翁自伝』〈読書雑記3〉 小泉信三 文芸春秋 昭22. 8

<9月>

- 0663 福沢諭吉の哲学 丸山真男 国家学会雑誌 61の3 昭22. 9

<12月>

- 0664 福沢諭吉の書翰 小泉信三 文芸春秋 昭22.12
0665 福沢諭吉の歴史観 小泉信三 人間 昭22.12

1948年（昭和23）

- 0666 The autobiography of Fukuzawa Yukichi, authorized edition by Yukichi Fukuzawa, translated by Eiichi Kiyooka, Tokyo, Hokuseido Press, 1948
0667 『町人諭吉』 太田正孝 新世界文化社 昭23 [初版 昭2]
0668 『福沢諭吉』 小泉信三 弘文堂 昭23 (『アテネ文庫』)
0669 『福沢諭吉』 吉田武三 弘学社 昭23
0670 『福沢諭吉の根本理想』 野村兼太郎 東洋経済新報社 昭23

<3月>

- 0671 福沢先生を憶う 三淵忠彦 三色旗 昭23. 3
0672 四つの福沢論 遠山茂樹 歴史学研究 昭23. 3

<7月>

- 0673 福沢先生と飛行機 奥井復太郎 慶應通信 昭23. 7

<8月>

- 0674 福沢先生と万里先生 高橋誠一郎 教育と社会 昭23. 8

<10月>

- 0675 『福翁自伝』の自筆原稿 富田正文 三色旗 7号 昭23.10

<12月>

- 0676 福沢諭吉の政治思想論 中村菊男 慶應義塾大学教材名著研究 昭23.12

1949年（昭和24）

- 0677 『自由と文明の父福沢諭吉』 宮下正美 妙義出版社 昭24
0678 『日本近代化と福沢諭吉』 中村菊男 改造社 昭24
0679 『福沢諭吉』 田中王堂 関書院 昭24 [初版 大4] (『田中王堂選集』第2冊)
0680 『福沢諭吉の若き日』 浦上五六 学習社 昭24
0681 『福翁百話・百余話』の草稿 昆野和七 三色旗 10号 昭24. 1

- 0682 福沢先生研究会創立三十周年記念講演、説得か、暴力か—現代社会における言論の自由
カナダ駐日首席代表E. ハーバート・ノーマン 世界 38号 昭24. 2
- 0683 福沢先生と現代日本 野村兼太郎 三色旗 17号 昭24. 8
- 0684 独立に於ける内と外とを論ず 岡猛 三田政治学会誌 昭24.11
- 0685 福沢精神と現代的意義 中村菊男 三田政治学会誌 昭24.11
- 0686 福沢諭吉の現代的意味 稲葉照一 三田政治学会誌 昭24.11

1950年（昭和25）

- 0687 The beginnings of political democracy in Japan. by Nobutaka Ike Baltimore,
Joyn Hopkins Press, 1950
- 0688 『福翁自伝』雑感 渡辺徳三郎 仔馬 2の3 昭25
- 0689 『福沢諭吉』 高石真五郎 社会教育協会 昭25
- 0690 『福沢諭吉』 永瀬忠利 玉川大学出版部 昭25
- 0691 福沢諭吉の階級的意識 家永三郎 『近代精神とその限界』（『角川新書』） 昭25
- <1月>
- 0692 塾風について 松本芳夫 三色旗 22号 昭25. 1
- 0693 戦前に於ける福沢関係文献に就いて 昆野和七 福沢研究 4号（復刊1号） 昭25. 1
- 0694 福沢研究の動向に就いて（論説） 小泉信三 福沢研究 4号（復刊1号） 昭25. 1
- 0695 福沢先生と木村芥舟（新資料紹介） 富田正文 福沢研究 4号 昭25. 1
- 0696 福沢先生とレオン・ド・ロニイ 野村兼太郎 福沢研究 4号 昭25. 1
- 0697 福沢先生における自由の形成—其相対的価値観を中心として 丹波和夫 福沢研究 4
号 昭25. 1
- 0698 福沢諭吉先生の文学論 柳田泉 三田新聞 1950. 1. 30
- 0699 封建社会と福沢の立場（昭和23年度福沢先生研究会当選論文） 土橋俊一 福沢研究
4号 昭25. 1

<2月>

- 0700 学問ノス、メ 吉野 増補改訂『日本文学大辞典』 1巻 495～497頁 昭25. 2
- 0701 「独立自尊」講話 1 野依秀市 世界仏教 5の2 昭25. 2

<4月>

- 0702 学問と思想の自由のために— 福沢諭吉によせて 大内兵衛 日本評論 25の4 昭25.
4

- 0703 福沢諭吉 家永三郎 日本歴史 23号 昭25. 4

<5月>

- 0704 歴史観と愛国論— 福沢諭吉『文明論之概略』について 小泉信三 新潮 48の7 昭
25. 5

<6月>

- 0705 福沢諭吉の思想と現代 中村菊男 ニュー・ヒストリー 1の2 昭25.6
 〈7月〉
- 0706 最晩年の福沢先生 高橋誠一郎 中央公論 65の7 昭25.7
 〈8月〉
- 0707 ある日の福沢諭吉 松永安左エ門 経済往来 2の8 昭25.8
- 0708 条約改正と福沢諭吉 中村菊男 法学研究 23の8 昭25.8
- 0709 福沢諭吉の上書—長州再征に関する建白書写本 昆野和七 法学研究 23の8 昭25.8
- 0710 法典争議と福沢の立場—明治法史における福沢諭吉(1) 田中実 法学研究 23の8 昭25.8
 〈10月〉
- 0711 一太郎宛書翰—米国遊学中の二子に与う「未発表」 福沢諭吉 福沢研究 5輯 昭25.10
- 0712 後藤象二郎宛福沢諭吉書翰 河北展生 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10 [全集未収録]
- 0713 自由民権運動に関する一考察(1)黎明期に於ける福沢諭吉(上) 昆野和七 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0714 条約改正と福沢諭吉(続) 中村菊男 法学研究 23の10 昭25.10
- 0715 西洋事情 吉野 増補改訂『日本文学大辞典』4巻 291～292頁 新潮社 昭25.10
- 0716 世界国盡 [日夏] 増補改訂『日本文学大辞典』4巻 296頁 新潮社 昭25.10
- 0717 先生と一塾生 高石真五郎 福沢研究 5号 昭25.10
- 0718 草創期の幼稚舎 吉田小五郎 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0719 父諭吉を語る 志立滝 福沢研究 5号 昭25.10
- 0720 長与専斎宛福沢諭吉書翰 富田正文 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0721 日本科学史上における福沢諭吉の地位 大矢真一 福沢研究 第5号 昭25.10
- 0722 福沢家寄贈新資料〈コラム〉 昆野和七 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0723 福沢研究と私 中村菊男 三田政治学会誌 33 昭25.10
- 0724 福沢所蔵の『英清辞典』—文久2年ロンドンで購入 昆野和七 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0725 福沢先生の革命及び戦争観 田畑忍 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0726 福沢先生の滞欧手帳 野村兼太郎 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10

- 0727 福沢諭吉関係文献総目録— 福沢生前より昭和25年9月まで 昆野和七編 史学 24の
2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0728 福沢諭吉第2回渡米日記 河北展生 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号
昭25.10
- 0729 福沢諭吉と明治民法 玉城肇 福沢研究 第5号 昭25.10
- 0730 福沢諭吉の『西洋事情』 間崎万里 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号
昭25.10
- 0731 福沢諭吉の農業論— 水田をめぐって〈研究ノート〉 雄谷三郎 福沢研究 5号 昭
25.10
- 0732 ベルリンに於ける我国最初の遣欧使節 今宮新 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記
念特輯号 昭25.10
- 0733 松平春嶽の会議政治思想— 福沢諭吉との交渉が示唆するもの 河北展生 史学 24の
2, 3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 0734 民族学と福沢先生 松本信広 史学 24の2～3 福沢諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.
10
- 0735 和蘭事始と蘭学事始— 福沢家所蔵の写本について 富田正文 史学 24の2～3 福沢
諭吉五十年忌記念特輯号 昭25.10
- 〈12月〉
- 0736 法典編纂と福沢諭吉 1～5 中村菊男 法学研究 23の12, 24の1, 24の2～3, 24の
5, 24の6 昭25.12, 26.1, 3, 4, 6

1951年（昭和26）

- 0737 Fukuzawa Yukichi. Sanson G. B. The Western World and Japan ; a study in the
interaction of European and Asiatic cultures. N.Y., A.A. Knopf, 1951.
- 〈1月〉
- 0738 福沢先生という人 1～3 〈対談〉 松永安左エ門、三宅晴輝 東洋経済新報 2455～
2457号 昭26.1.20～26.1.27
- 〈2月〉
- 0739 愛児に与えた福沢の手紙 富田正文 世界 62 昭26.2
- 0740 日本国民抵抗の精神— 福沢諭吉五十年祭に寄せて 遠山茂樹 世界 62号 昭26.2
- 0741 福沢先生と日本の独立 小泉信三 実業之世界 48の2 昭26.2
- 〈4月〉
- 0742 福翁百話 海後 増補改訂『日本文学大事典』6巻 新潮社 234頁 昭26.4
- 0743 『福沢選集』の発刊によせて 羽仁五郎 図書 19 昭26.4
- 0744 福沢諭吉 [吉野] 増補改訂『日本文学大辞典』6巻 新潮社 235～237頁 昭26.

- 0745 『福沢諭吉選集』に就て 富田正文 図書 19 昭26. 4
- 0746 『文明論之概略』 [吉野] 増補改訂『日本文学大事典』6巻 新潮社 336～338頁
昭26. 4
- <5月>
- 0747 『学問のすゝめ』の遺稿について 富田四郎 『福沢諭吉選集』付録1 昭26. 5
- 0748 啓蒙思想家としての福沢先生 嘉治隆一 『福沢諭吉選集』付録1 昭26. 5
- 0749 福沢諭吉と福沢先生 小泉信三 『福沢諭吉選集』付録1 昭26. 5
- 0750 諭吉と卯吉 塚谷晃弘 紀伊国屋月報 昭26. 5
- 0751 幼時の思い出 福沢大四郎 『福沢諭吉選集』付録1 昭26. 5
- <7月>
- 0752 日本最初の簿記学者 富田正文 『福沢諭吉選集』付録2 昭26. 7
- 0753 日本資本主義の父としての福沢諭吉 大内兵衛 『福沢諭吉選集』付録2 昭26. 7
- 0754 福沢先生と北里先生 志賀潔 『福沢諭吉選集』付録2 昭26. 7
- 0755 福沢諭吉 富田正文 理想 25の6 昭26. 7
- 0756 諭吉初期の啓蒙的著述における国際性 まつしま・えいいち 『福沢諭吉選集』付録2
昭26. 7
- <9月>
- 0757 演説館の建設 谷口吉郎 『福沢諭吉選集』付録3 昭26. 9
- 0758 独立の精神について 松本芳夫 慶應通信 42号 昭26. 9
- 0759 福沢と歴史観 遠山茂樹 『福沢諭吉選集』付録3 昭26. 9
- 0760 福沢諭吉と西郷隆盛 1, 2 富田正文 新文明 1の1～2 昭26. 9～10
- 0761 文化移動と福沢諭吉の貢献 長谷川如是閑 『福沢諭吉選集』付録3 昭26. 9
- 0762 余の接したる福沢先生 川合貞一 『福沢諭吉選集』付録3 昭26. 9
- <10月>
- 0763 『福翁百話』復刻の思い出 富田正文 塾友 昭26.10
- 0764 福沢諭吉の独立自尊 遠山茂樹 教育技術 6の8 昭26.10
- <11月>
- 0765 英訳『福翁自伝』の海外に於ける反響 清岡暎一 『福沢諭吉選集』付録4 昭26.11
- 0766 近代文学と福沢の役割 塩田良平 『福沢諭吉選集』付録4 昭26.11
- 0767 遣米使節の米国議会見学 河北展生 史学 25の2 昭26.11
- 0768 父福沢諭吉の思い出 福沢大四郎 実業之世界 48の11 昭26.11
- 0769 日清戦争と福沢諭吉— その歴史的起点について 遠山茂樹 福沢研究 6号 昭26.11
- 0770 福沢精神における「民主愛国」のゆくえ 豊田四郎 福沢研究 6号 昭26.11
- 0771 福沢精神の歴史的発展— 福沢と民友社との思想的関連 家永三郎 福沢研究 6号
昭26.11
- 0772 福沢先生の欧米教育視察 野村兼太郎 福沢研究 第6号 昭26.11

- 0773 福沢・西・田口 つだ・そうきち 福沢研究 6号 昭26.11
0774 『福沢諭吉選集』（紹介と批評） 中村菊男 法学研究 24の11 昭26.11
0775 『福沢諭吉全集』 獅子文六 福沢諭吉選集付録 4 昭26.11
0776 福沢諭吉と榎本武揚 富田正文 新文明 1の3 昭26.11
0777 明治民法と福沢の立場— 玉城肇氏の『福沢諭吉と明治民法』批判 中村菊男 『福沢研究』 6号 昭26.11

<12月>

- 0778 福沢諭吉と榎本武揚（承前） 富田正文 新文明 1の4 昭26.12

1952年（昭和27）

<1月>

- 0779 婚姻契約の嚆矢 富田正文 『福沢諭吉選集』付録5 昭27.1
0780 父と漢学 福沢三八 『福沢諭吉選集』付録5 昭27.1
0781 福沢諭吉の結婚観— 長子一太郎氏結婚披露会における演説 半沢正二郎 新文明 2の1 昭27.1
0782 福沢諭吉断片 宇野浩二 『福沢諭吉選集』付録5 昭27.1

<2月>

- 0783 近代文体の黎明— 前島密と福沢諭吉 山本正秀 茨城大学文理学部紀要・人文科学2 昭27.2
0784 福沢諭吉と笠原恵 渡辺慶一 日本歴史 45号 昭27.2
0785 福沢諭吉と勝海舟 富田正文 新文明 2の2 昭27.2

<3月>

- 0786 征使水路記—遣米使節航行図並に解説書 河北展生 史学 25の3 昭27.3
0787 徳育は如何にあるべきか 海後宗臣 『福沢諭吉選集』付録6 昭27.3
0788 福沢先生を斯く見る 松永安左エ門 『福沢諭吉選集』付録6 昭27.3
0789 民族変貌期の精神能力 亀井勝一郎 『福沢諭吉選集』付録6 昭27.3

<4月>

- 0790 福沢諭吉と大久保利通 富田正文 新文明 2の4 昭27.4

<6月>

- 0791 日本型ブルジョア・リベラリストの社会経済的地盤— 武藤山治の社会経済的草創時代と福沢諭吉 市原亮平 経済学雑誌 26の6 昭27.6
0792 福沢著作を読む人 板倉卓造 『福沢諭吉選集』付録7 昭27.6
0793 福沢先生と亡父 犬養健 『福沢諭吉選集』付録7 昭27.6
0794 福沢諭吉と民族の独立 岡義武 『福沢諭吉選集』付録7 昭27.6
0795 私は何故福沢研究を志したか カーメン・ブラッカー 『福沢諭吉選集』付録7 昭27.6

<7月>

- 0796 福沢諭吉と木戸孝允 富田正文 新文明 2の7 昭27.7

<8月>

- 0797 広告ワンマン福沢諭吉 篠田敏造 新聞ラジオ広告 7の8 昭27.8
0798 藤村の作品と福沢先生 会田倉吉 塾友 10号 昭27.8

<9月>

- 0799 永井好信宛福沢諭吉書翰 1,2 河北展生 史学 25の4 昭27.9
0800 福沢諭吉と岩倉具視 富田正文 新文明 2の9 昭27.9
0801 民主主義に対する父の考え— 明治時代のユートピア主義者・諭吉 福沢三八 文芸春秋 3の13 昭27.9
0802 諭吉の思想形成に於ける社会的背景 小瀬仁作 山梨大学学芸部研究報告3号 昭27.9

<10月>

- 0803 新聞の福沢精神 近盛晴嘉 三田評論 555号 昭27.10

<11月>

- 0804 散歩党の思い出 小山完吾 『福沢諭吉選集』付録8 昭27.11
0805 『福沢諭吉選集』の完成 小泉信三 『福沢諭吉選集』付録 8 昭27.11
0806 未発表書翰中の逸品 富田正文 『福沢諭吉選集』付録8 昭27.11

<12月>

- 0807 上野の戦争中の英書購読の評判 河北展生 史学 26の1～2 昭27.12
0808 地図と慶應義塾 河北展生 史学 26の1～2 昭27.12
0809 福沢先生と風呂 武田勝蔵 新文明 2の12 昭27.12
0810 『福沢諭吉選集』完成の意味 遠山茂樹 図書 39 昭27.12

1953年（昭和28）

- 0811 The Kyūhanjō of Fukuzawa Yukichi by Cermen Blacker. Monumenta Nipponica, vol. 9, no. 1 / 2, 1953. pp.304-329
0812 『近代日本と福沢諭吉』 中村菊男 泉文堂 昭28
0813 福沢精神の歴史的発展— 福沢と民友社との思想的関連 家永三郎 『日本近代思想史研究』 東大出版会 昭28
0814 福沢先生と徳育の問題 渡辺徳三郎 幼稚舎同窓会報 20号 昭28

<1月>

- 0815 近代精神と実学主義— 福沢諭吉を中心として 井上久雄 広島大学教育学部紀要・第1部1号 昭28.1～3
0816 福沢先生の西洋心酔家批評 小泉信三 実業之世界 50の1 昭28.1

<2月>

- 0817 福沢先生 三宅憲吉談 半沢正二郎記 新文明 3の2 昭28.2
- 0818 明治初期に於ける歴史観の問題— 特に文明論の概略について 高橋功 学芸 第1部
3の2 昭28.2
〈3月〉
- 0819 明治の平和主義者— 日本文化史における新島襄と福沢諭吉 田畑忍 改造 34の3
昭28.3
〈4月〉
- 0820 福沢先生初見の芝居 会田倉吉 塾友 17号 昭28.4
〈5月〉
- 0821 福沢諭吉『愛児への手紙』〈書評〉 土橋俊一 三田評論 557号 昭28.5
- 0822 『路傍の石』と福沢先生 会田倉吉 塾友 18号 昭28.5
〈6月〉
- 0823 『帳合之法』を介して福沢先生を偲ぶ 三辺金蔵 簿記 4の6 昭28.6
- 0824 中津藩文書に見えた『学問のすゝめ』初編の写本に就て〈余白録〉 富田正文 史学
26の3～4 昭28.6
- 0825 服部鐘宛福沢書翰 河北展生 史学 26の3～4 昭28.6
- 0826 福沢諭吉『愛児への手紙』〈書評〉 小泉信三 新文明 3の6 昭28.6
- 0827 福沢諭吉と中津藩との関係— 中津藩に対する福沢上書を中心として 昆野和七 史学
26の3～4 昭28.6
- 0828 福沢諭吉と簿記 西川孝治郎 企業会計 5の6 昭28.6
〈7月〉
- 0829 『近代日本と福沢諭吉』〈書評〉 奈須田 師友 46号 昭28.7～9
- 0830 福沢先生と義太夫 富田正文 新文明 3の7 昭28.7
- 0831 福沢先生とペリ提督の日本遠征記 河北展生 三田評論 558号 昭28.7
- 0832 福沢先生の胸像に就いて 北村西望 三田評論 558号 昭28.7
- 0833 福沢諭吉の明治憲法観 木村時夫 史観 39号 昭28.7～8
- 0834 諭吉と鑑三 室田泰一 岐阜大学学芸学部研究報告・人文科学1 昭28.7～9
〈8月〉
- 0835 実在主義の制約— 福沢諭吉を中心として 井上久雄 広島大学教育学部紀要・第1部
2号 昭28.8
〈9月〉
- 0836 福沢諭吉の道德観における「理」と「情」との観念について カーメン・E・ブラッ
カー 三田評論 559号 昭28.9
〈10月〉
- 0837 中村菊男著『近代日本と福沢諭吉』 富田正文 法学研究 26の10 昭28.10

1954年（昭和29）

- 0838 FUKUZAWA YUKICHI. New century cyclopedia of names. vol. 2 p.1659 c
1954
- 0839 『福沢諭吉の遺風』 富田正文編 時事新報社 1955 154 P 38cm
〈1月〉
- 0840 慶應義塾の最初の新年会 会田倉吉 三田評論 560号 昭29. 1
- 0841 デニング英大使の父と福沢先生 会田倉吉 新文明 4の1 昭29. 1
- 0842 福沢諭吉 向坂逸郎編著 『近代日本の思想家』 和光社 昭29. 1
〈4月〉
- 0843 福沢先生の胸像について 高橋誠一郎 三田評論 561号 昭29. 4
- 0844 福沢の婦人論—政治・社会思想との内的関連 大畠三郎 教育科学 3の2 昭29. 4
～6
- 0845 福沢諭吉 [森谷] 『大人名事典』 5巻 332～334頁 平凡社 昭29. 4
〈5月〉
- 0846 アンケート『福沢諭吉の人と思想をどのように評価されるか』その他 板倉卓造、木村
義雄、獅子文六、他10数人 福沢研究 7号 昭29. 5
- 0847 馬を好む父諭吉 福沢三八 福沢研究 7号 昭29. 5
- 0848 『学問のすゝめ』初編の上梓と東奥義塾〈雑報〉 河北展生 史学 27の2・3「慶應
義塾史研究特輯」 昭29. 5
- 0849 キリスト者の福沢論 会田倉吉 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29. 5
- 0850 九鬼家所伝福沢資料 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29. 5
- 0851 桑名港差出の福沢書翰 河北展生 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.
5
- 0852 「慶應義塾医学所入門帳」について 杉本治子 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特
輯」 昭29. 5
- 0853 慶應義塾教員デニング 会田倉吉 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.
5
- 0854 慶應義塾入門初期姓名録について—鉄砲洲新銭座時代を中心として 河北展生 史学
27の2・3 慶應義塾史研究特輯 昭29. 5
- 0855 慶應義塾入門帳の最初の記名者 会田倉吉 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」
昭29. 5
- 0856 桜井恆次郎宛福沢自筆の葉書（写真口絵） 富田正文 史学 27の2・3「慶應義塾史
研究特輯」 昭29. 5
- 0857 「修身要領」の編纂過程に就いて 土橋俊一 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特
輯」 昭29. 5
- 0858 初期慶應義塾の学問 中山一義 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29. 5

- 0859 修身要領関係資料 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0860 宣教師ナップと福沢諭吉 会田倉吉 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0861 前期幼稚舎史稿（上） 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0862 男女平等観と婦人劣等観— 福沢先生の婦人論に因みて 高橋誠一郎 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5 （のち『経済学、わが師わが友』に収録）
- 0863 鉄砲洲武家屋敷立退令 河北展生 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0864 『東京名所鑑』の慶應義塾 会田倉吉 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0865 中津資料採訪の収穫 富田正文 福沢研究 7号 昭29.5
- 0866 日本「演説」の草分け 大久保忠利 福沢研究 7号 昭29.5
- 0867 藩別に見た初期の慶應義塾入門生 河北展生 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0868 福沢思想の変化—中村菊男氏に答える 玉城肇 福沢研究 7号 昭29.5
- 0869 福沢精神と私達の演劇 河原崎長十郎 福沢研究 7号 昭29.5
- 0870 福沢諭吉 小林澄兄 教育技術 9の5 昭29.5
- 0871 福沢諭吉先生の経済論 高橋誠一郎 書斎の窓 12号 昭29.5
- 0872 福沢諭吉と大隈重信— 両人の交友と近代日本の建設 渡辺幾治郎 福沢研究 7号 昭29.5
- 0873 福沢諭吉と明治初期の学界 大久保利謙 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0874 福沢諭吉の孝行観 渡辺徳三郎 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0875 「法律学校入社帳」について 会田倉吉 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- 0876 明治初期の地図と慶應義塾 会田倉吉 史学 「慶應義塾史研究特輯」 27の2・3 昭29.5
- 0877 明治初年に於る福沢諭吉の一面— 九鬼家所伝福沢資料解説 富田正文 史学 27の2・3「慶應義塾史研究特輯」 昭29.5
- <6月>
- 0878 『福翁自伝』の解題 大内兵衛 『風物・人物・書物』 黄土社 昭29.6
- 0879 福沢諭吉におけるナショナリズムの発展 前島省三 立命館法学 6号 昭29.6
- 0880 文章のうそとまこと—『福翁自伝』のこと 服部之総 文学の友 5の6 昭29.6
（のち『明治維新史』収録）
- <7月>
- 0881 『史学』の慶應義塾史特輯〈書評〉 三田評論 526号 昭29.7

- 0882 宣教師ショウと福沢諭吉 杉本治子 新文明 4の7 昭29.7
 <8月>
- 0883 再びデニング英大使について 会田倉吉 新文明 4の8 昭29.8
 <9月>
- 0884 再び福沢先生初見の芝居について 会田倉吉 塾友 33号 昭29.9
 <10月>
- 0885 福沢先生と風呂 古門富太 三田評論 563号 昭29.10
- 0886 福沢先生の和歌 富田正文 三田評論 563号 昭29.10
 <11月>
- 0887 記者に対する福沢の戒め 小泉信三 読売新聞 昭29.11.3
- 0888 『西洋事情』初編四種 河北展生 史学 27の4 昭29.11
- 0889 福沢諭吉と収支簿記法 西川孝治郎 会計 66の6 昭29.11
 <12月>
- 0890 福沢諭吉ゆかりの古本『上諭条例』発見さる 毎日新聞 昭29.12.5
- 0891 落字の福沢先生遺墨 小山完吾 新文明 4の12 昭29.12

1955年（昭和30）

- 0892 『福沢先生の言葉』 藤原銀次郎 実業之日本社 昭30
- 0893 『福沢諭吉』 岩波書店編 岩波書店 昭30 （『岩波写真文庫』 135）
- 0894 『福沢諭吉』 奥野信太郎 金子書房 昭30 （『少年少女新伝記文庫』）
 <1月>
- 0895 福沢先生の言葉 10 藤原銀次郎 実業之日本 58の1 昭30.1
- 0896 福沢諭吉に於ける「啓蒙精神」の構造 宮川透 東洋文化研究所紀要 6号 昭30.1
 ～2
- <2月>
- 0897 福沢先生と書と其頃の思出 平沼亮三 新文明 5の2 昭30.2
 <3月>
- 0898 大隈重信と福沢諭吉 1 渡辺幾治郎 大隈研究 6号 昭30.3
- 0899 福沢先生関係文献目録稿 29年度～34年度 会田倉吉 塾友 昭30.3, 31.3, 32.4,
 33.5, 33.11・12合併, 37.9
- <4月>
- 0900 『続福沢全集』所収福沢書翰二通の発信年について 会田倉吉 史学 28の1 昭30.
 4
- 0901 福沢諭吉先生の親ごころ 杉浦翠子 新文明 5の4 昭30.4
- 0902 福沢諭吉に於ける官民調和論の一考察 池内啓 福井大学学芸学部紀要・社会科学 4
 号 昭30.4

<6月>

- 0903 福沢諭吉の『文明論之概略』 小泉信三 心 8の6 昭30.6

<9月>

- 0904 福沢の進退 小泉信三 文芸春秋 昭30.9

<10月>

- 0905 『続福沢全集』所収福沢書翰一通の発信年の確認 会田倉吉 史学 28の2 昭30.10

- 0906 福翁書簡 坂口分二 新文明 5の10 昭30.10

<11月>

- 0907 福沢と唯物史観 小泉信三 文芸春秋 昭30.11

- 0908 福沢諭吉教育関係文献索引 [渡辺徳三郎] 慶應義塾刊 昭30.11

1956年（昭和31）

- 0909 福沢諭吉 Ф у к у д з а в а ю к и т и 『ソヴエト大百科事典』第2版 45巻 356
～357コラム番号 p. 123 1956

- 0910 初期議会における福沢諭吉の時事批判について (1)第一次松方内閣成立前後より第二議
会解散に至る (2)第二議会より第三議会に至る 池内啓 福井大学学芸学部紀要・社
会科学 5, 6号 昭31.32

<1月>

- 0911 父としての福沢諭吉先生 小泉信三 婦人公論 41の1 昭31.1

<2月>

- 0912 福沢先生の政治批判精神 高橋誠一郎 新政界 2の2 昭31.2

- 0913 『福沢諭吉』私観 上沼八郎 教育史研究 2号 昭31.2

- 0914 福沢諭吉著『帳合之法』の紹介 猪木金人 商業教育 昭31.2

- 0915 福沢諭吉と「女大学」 青山なほ 東京女子大学論集 6の2 昭31.2

- 0916 福沢諭吉の実存思想と教育論 林三平 東洋大学紀要 8号 昭31.2

<3月>

- 0917 法秩序の尊重と福沢先生〈週刊論壇〉 小泉信三 産経新聞 昭31.3.5

<4月>

- 0918 女子学生が来塾—オーストラリアから諭吉の研究 ジョイス・アクロード 慶大新聞
169号 昭31.4.25

- 0919 福沢先生の衣鉢を継ぐ人 高石真五郎 三田評論 569号 昭31.4

- 0920 福沢諭吉の教育制度観 門田見昌明 九州大学教育学部紀要 昭31.4

- 0921 福沢諭吉の小学校令批判 井上久雄 広島大学教育学部紀要 1 昭31.4～5

- 0922 福沢諭吉の誕生日をめぐる 会田倉吉 新文明 6の4 昭31.4

- 0923 『福沢諭吉文献』〈書評〉 昆野和七 三田評論 569号 昭31.4

<5月>

- 0924 『改暦弁』の効用と流布 会田倉吉 史学 29の1 昭31.5
- 0925 カロザスに言及せる或る福沢書翰について 会田倉吉 史学 29の1 昭31.5
- 0926 慶應義塾とコーネル大学 会田倉吉 史学 29の1 昭31.5
- 0927 ナップに言及せる福沢書翰 会田倉吉 史学 29の1 昭31.5
- 0928 福沢自筆の葉書について 富田正文 史学 29の1 昭31.5
- 0929 福沢書翰の日附について 河北展生 史学 29の1 昭31.5
- 0930 福沢諭吉遣欧使節随事情 河北展生 史学 29の1 昭31.5
- 0931 未発表福沢書翰三通 河北展生 史学 29の1 昭31.5
- 0932 明治20年7月29日附福沢一太郎宛福沢諭吉書翰 河北展生 史学 29の1 昭31.5
- 〈6月〉
- 0933 福沢先生と共産主義〈週刊論壇5〉 小泉信三 産経新聞 昭31.6.4
- 〈7月〉
- 0934 福沢関係新資料の発見 昆野和七 三田評論 570号 昭31.7
- 0935 福沢先生と明治初期の商業教育界 会田倉吉 相互経済 5の7 昭31.7
- 〈10月〉
- 0936 家庭の福沢先生 清岡暎一 三田評論 571～574, 576, 578, 579号 昭31.10, 32.3, 32.9, 32.12, 33.5, 33.9, 33.10
- 0937 『西洋事情』と『学問のすゝめ』 家永三郎 『日本人の思想の歩み』 23～28頁 理論社 昭31.10
- 0938 福沢諭吉の諸問題 伊藤正雄 国語国文学 5号 昭31.10～12
- 〈11月〉
- 0939 『学問のすゝめ』の用語について 伊藤正雄 解釈 2の11～12 昭31.11～12
- 0940 福沢諭吉における宗教的世界観の形成 中原信雄 日本歴史 101号 昭31.11
- 1957年（昭和32）**
- 0941 The first Japanese mission to England by Cermen Blacker. History Today, Dec. 1957
- 0942 Speech education in Japan in the latter half of the 19th century by Mitsuko Saito. Doctoral dissatation at North Western Unveysity, 1957
- 0943 福沢諭吉研究書目参考文献 吉田精一 現代日本文学全集月報 筑摩書房 95号 昭32
- 〈2月〉
- 0944 福沢諭吉著作年表、資料年表 昭和女子大学近代文学研究室編 『近代文学研究叢書』 5巻 58～240頁 昭32.2
- 〈3月〉
- 0945 思想家の顔— または贋作福沢諭吉 茅野英良 福沢研究 8号 昭32.3
- 0946 福沢から何を学ぶか— 丸山真男氏を囲んで〈座談会〉 福沢研究 8号 昭32.3

- 0947 福沢先生の義塾経営の苦心 小泉信三 三田評論 572号 昭32. 3
- 0948 福沢で啓蒙されねばならなかった日本の不幸について 三枝博音 福沢研究 8号 昭32. 3
- 0949 福沢諭吉と明治の思想界 家永三郎 福沢研究 8号 昭32. 3
- 0950 福沢諭吉における洋学の展開—『学問のすゝめ』に至るまで 生松敬三 福沢研究 8号 昭32. 3
- 0951 福沢諭吉の受けとめられかた—とくに福沢の思想と民衆の覚醒について 鹿野政直 福沢研究 8号 昭32. 3
- 〈4月〉
- 0952 福沢諭吉主要著作解題 1～4 〈連載〉 土橋俊一 三田新聞 昭32. 4. 21, 5. 1, 5. 11, 5. 21
- 〈5月〉
- 0953 福沢諭吉と現代日本 伊藤正雄 甲南大学文学会論集 5 昭32. 5
- 0954 明治初期簿記文献目録 明治20年まで 西川孝治郎編 日本会計研究学会第16回大会「日本簿記発達史の特徴」展示資料 昭32. 5
- 〈6月〉
- 0955 天皇制イデオロギーと福沢諭吉 山田昭次 史苑（立教大学）18の1 昭32. 6
- 〈7月〉
- 0956 活字本『天変地異』〈余白録〉 河北展生 史学30の1 昭32. 7
- 0957 人情家福沢先生 高石真五郎 文芸春秋 昭32. 7
- 〈9月〉
- 0958 富田正文校注、新かな、当用漢字『福翁自伝』〈書評〉 伊藤正雄 三田評論 573号 昭32. 9
- 0959 福沢先生と義塾の財政的危機 土橋俊一 三田評論 573号 昭32. 9
- 0960 福沢先生とその国際政治論 岡義武 三田評論 573号 昭32. 9
- 〈10月〉
- 0961 日本近代化と福沢諭吉 中村菊男 社会思想研究 9の10 昭32. 10
- 〈11月〉
- 0962 木村芥舟日記記載の福沢諭吉関係資料 河北展生 史学 30の2 昭32. 11
- 0963 慶應義塾 松本芳夫 『日本歴史大辞典』7巻 72～73頁 河出書房新社 昭32. 11
- 0964 日本簿記の一こま— 福沢諭吉と『帳合之法』 木村和三郎 経営研究 31 昭32. 11
- 〈12月〉
- 0965 土橋俊一著『福沢諭吉』〈書評〉 中山一義 三田評論 574号 昭32. 12
- 0966 福沢先生と基督教 横浜礼吉 塾友 7の12 昭32. 12

1958年（昭和33）

- 0967 Fukuzawa Yukichi on family relationship by Cermen Blacker. Monumenta Nipponica. vol.14 no.1,2, 1958~59. pp.40~60
- 0968 慶應義塾創立百年記念福沢諭吉展 慶應義塾編 昭33
- 0969 『慶應義塾百年史』上・中（前・後）・下巻、別巻（大学編）、付録（年表索引等） 慶應義塾編 慶應義塾 昭33~44
- 0970 『福沢諭吉入門』— その言葉と解説 伊藤正雄 毎日新聞社 昭33
〈2月〉
- 0971 近世における史観— 特に福沢諭吉の市民史観について 吹抜秀雄 愛知学芸大学社会科学 科学研究報告 7号 昭33. 2
〈3月〉
- 0972 明治初期の地図と慶應義塾 補遺 会田倉吉 史学 30の4 昭33. 3
〈4月〉
- 0973 『西洋事情』から『学問のすゝめ』への一面 河村嘉樹 甲南女子短期大学論叢 3 昭33 [4~6月]
- 0974 福沢諭吉と漱石 秋山謙蔵 新文明 8の4 昭33. 4
〈5月〉
- 0975 福沢諭吉 [岩井忠熊] 『世界大百科事典』24巻 492頁 平凡社 昭33. 5
〈6月〉
- 0976 福沢諭吉の『通貨論』 長幸男 金融経済 50 昭33. 6
〈7月〉
- 0977 『福翁自伝』の思い出 吉野秀雄 三田評論 577号 昭33. 7
- 0978 森山多吉郎と福沢諭吉〈歴史手帳〉 板橋倫行 日本歴史 121号 昭33. 7
〈9月〉
- 0979 新しい『福沢全集』について 富田正文 三田評論 578号 昭33. 9
- 0980 福沢先生ウェーランド講述の図（口絵） 三田評論 578号 昭33. 9
〈10月〉
- 0981 『父諭吉を語る』 福沢先生研究会編 慶應通信 昭33.10
- 0982 福沢諭吉の家庭観— 主として明治初期の所論を中心として 渡辺徳三郎 教育史学会 紀要 1輯 昭33.10
- 0983 福沢諭吉の婦人論 青山なを 東京女子大学付属比較文化研究所紀要 6巻 昭33.10
（『明治女学校の研究』慶應通信 昭45. 1収録）
〈11月〉
- 0984 『思想家としての福沢諭吉』 加田哲二 慶應通信 昭33.11
- 0985 学篇 群力訳 商務印書館 昭33.11 昭34. 9再版 （『学問のすゝめ』の漢訳）
- 0986 『図説慶應義塾百年小史』 慶應義塾編 慶應義塾 昭33.11
- 0987 チェンバース経済書 高橋誠一郎 『福沢諭吉全集』1巻付録 昭33.11

0988 日本の近代化とアジア—全集発刊に寄せて 小泉信三 『福沢諭吉全集』1巻付録 昭33.11

0989 福沢先生肖像（口絵） 三田演説館 三田評論 580号 昭33.11

0990 福沢先生の見た父百助 中山一義 『福沢諭吉全集』1巻付録 昭33.11

0991 福沢誕生地付近 浦上五六 『福沢諭吉全集』1巻付録 昭33.11

0992 『福沢諭吉全集』 小泉信三 図書 110号 昭33.11

0993 『福沢諭吉全集』の編集について 富田正文 図書 110号〈福沢特集号〉 昭33.11

0994 福沢諭吉と井上毅と中江兆民 林茂 図書 110号〈福沢特集号〉 昭33.11

0995 福沢諭吉について 丸山真男 図書 110号〈福沢特集号〉 昭33.11

0996 福沢諭吉の外交論 内山正熊 『慶応義塾創立百年記念論文集』法学部第2部政治学関係 昭33.11

〈12月〉

0997 『福沢諭吉』—人とその思想 野村兼太郎 慶應通信 昭33.12

0998 福沢諭吉についての思い出 家永三郎 世界 156号 昭33.12

0999 福沢諭吉の人間観 武田清子 ICU教育研究 5号 昭33.12.15

1000 福沢諭吉の文体と発想〈座談会〉 西尾実、丸山真男、江藤淳 文学 26の12 昭33.12

1001 福沢諭吉の歴史観 山内道子 比較文化 5号 昭33.12